

2020 年度
日本学生オリエンテーリング選手権大会
ロング・ディスタンス競技部門
要項 3.1(プログラム)



期 日	2020年(令和2年)10月18日(日)
開 催 地	栃木県矢板市
競技会場	栃木県民の森
主 催	日本学生オリエンテーリング連盟 栃木県オリエンテーリング協会
主 管	2020年度日本学生オリエンテーリング選手権大会 ロング・ディスタンス競技部門実行委員会
共 催	一般社団法人大学スポーツ協会(令和2年度スポーツ庁補助事業)
後 援	矢板市 矢板市教育委員会 公益社団法人日本オリエンテーリング協会
協 賛	株式会社日本旅行 株式会社ニチレイ 有限会社ヤマカワオーエンタープライズ 株式会社フォルテ 一般社団法人奥三河高原アウトドア協会

目次

歓迎の言葉・ご挨拶

Page 2 - 3

1

はじめに

Page 4

- 1.1 開催内容
- 1.2 略称、呼称
- 1.3 用語説明

2

タイムテーブル

Page 5

3

大会全般

Page 6 - 10

- 3.1 主管の連絡先
- 3.2 大会公式Webサイト
- 3.3 立入禁止区域
- 3.4 トレーニングトレイン・モデルイベント
- 3.5 受付
- 3.6 選手変更申請
- 3.7 欠場連絡
- 3.8 観戦
- 3.9 大会適用規則
- 3.10 過去の気象情報
- 3.11 傷害保険
- 3.12 忘れ物
- 3.13 大会中止時の対応
- 3.14 新型コロナウイルス感染症予防に関する注意事項
- 3.15 その他の注意事項

4

会場へのアクセス

Page 11 - 12

- 4.1 会場所在地
- 4.2 アクセスマップ
- 4.3 降車場について
- 4.4 車・チャーターバスでの来場
- 4.5 公共交通機関での来場

5

競技情報

Page 13 - 15

- 5.1 競技形式
- 5.2 地図仕様
- 5.3 コントロール位置説明表
- 5.4 コース概要・競技時間
- 5.5 テレインの概要
- 5.6 公式掲示
- 5.7 テクニカルミーティング
- 5.8 テレイン・コースの注意事項
- 5.9 服装および所持品
- 5.10 GPSトラッキング

- 5.11 ナンバーカード
- 5.12 パンチングシステム
- 5.13 給水所・救護所
- 5.14 調査依頼・提訴
- 5.15 シード選手
- 5.16 使用テーブル一覧

6

ロング・ディスタンス競技詳細

Page 16 - 20

- 6.1 当日の流れ
- 6.2 会場
- 6.3 スタート待機所[選手権のみ]
- 6.4 スタート地区までの移動
- 6.5 スタート地区
- 6.6 遅刻スタート
- 6.7 競技時間
- 6.8 フィニッシュ
- 6.9 調査依頼
- 6.10 表彰式・閉会式

7

チームオフィシャルリスト

Page 21

8

スタートリスト

Page 22 - 26

- 8.1 選手権の部
- 8.2 一般の部

9

参加者数一覧

Page 27

10

大会役員

Page 28

日本学生オリエンテーリング選手権 実施規則

Page 29 - 35

歴代入賞者紹介

Page 36 - 42

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

歓迎の言葉・ご挨拶

矢板市長
齋藤 淳一郎



2020年度日本学生オリエンテーリング選手権大会が、ここ矢板市で開催され、全国から多くの選手の皆様にお越しいただきますことは誠に喜ばしく、心から歓迎申し上げます。

矢板市は、自然豊かな地であり、北にそびえる高原山の麓の八方ヶ原はレンゲツツジの群生地、そのオレンジ色と緑のコントラストの美しさは絶景で、緩やかな美林が広がるオリエンテーリングの「聖地」と称されています。

また、地方創生の取り組みの一環として、スポーツと観光を結び付けたスポーツツーリズムを推進し、交流人口の増加と地域経済の活性化に取り組んでいます。その中でも、過去6回の全日本学生選手権大会、それに伴うトレーニングイベント等、数多くの機会に当市へお越しいただく学生オリエンテーリング関係者の皆様には、この場をお借りして感謝申し上げます。大会を通じて地域の方々や参加された皆様との交流が図られれば幸いです。

さて、2年後の令和4年に開催される「いちご一会とちぎ国体」におきまして、デモンストレーションスポーツであるオリエンテーリングがここ矢板市で開催されます。選手としてはもちろん、競技運営に携わる立場として、再びこの地でお会いできることを楽しみにしております。

結びに、新型コロナウイルスの感染拡大により、スポーツイベントの中止・延期が余儀なくされる中、様々な感染症対策に取り組む等、大会開催にあたりご尽力いただいた日本学生オリエンテーリング選手権大会実行委員会をはじめ、関係各位に深く敬意を表するとともに、本大会が、参加される選手の皆様にとって思い出深い大会となることをご祈念申し上げまして、歓迎のあいさつといたします。

日本学生オリエンテーリング連盟会長
河合 利幸



大変な年になりました。春のインカレは延期の末、インカレ史上初めての中止。今回の秋のインカレも実施できるかどうかの綱渡りの状況が続きましたが、日本学連の役員やインカレ実行委員会、栃木県オリエンテーリング協会ほか、関係者の皆さんによる粘り強い交渉と尋常ならざる努力により、ようやく開催にこぎつけることができました。日光・矢板地区をかかえる栃木県だからこそできたことと存じます。準備に携わった関係者の皆さんには、まずはお礼申し上げます。諸事情によりスプリント競技が実施できなくなったことは残念ですが、やむを得ないでしょう。その他にも、併設大会なし、観客なし、様々な感染予防策の実施など、手間暇がかかる配慮が余分に必要なうえ、収支の面でも赤字の厳しい状況には変わりありません。

後期に入って対面授業が再開され始めていますが、部活はまだ禁止または条件付きという大学が多いと聞きます。私の勤務先も同様です。参加したくても参加できずという人も少なくないことでしょう。参加する学生の皆さんは、前述したとおりの厳しい状況下のインカレであること、インカレは当たり前のようにあるものではないことを踏まえたうえで、参加できなかった人の分まで競技を楽しんでください。ただし、会場や宿泊先、交通機関の利用時など、人と接する際には、指示された感染拡大防止策を徹底していただきたくお願いします。もし万一、感染拡大につながるようなことがあれば、今後の開催が危くなるということを常に念頭に置いて行動してください。

最後になりましたが、未曾有の事態の中、多忙な日々の合間を縫って準備に当たっていただいた実行委員会とその関係者の皆さんに改めて感謝いたします。栃木県及び矢板市の地元関係者の皆様には、様々な面でご指導ご協力をいただきました。主催者の日本学連を代表して、厚く御礼を申し上げます。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者



2020年3月に開催されたICMR2020の中止を決めた臨時幹事会、インカレをやりたい気持ちが一番強いはずの藤本前幹事長を含む4年生の幹事の方が、様々な状況を考え、そして今後のインカレを守るためにも中止という判断を下したこと、私はあの日が今でも胸に残り続けています。

二度とこのような悲しい思いを選手にさせないためにも、今年日本学生オリエンテーリングの幹事長としてそして幹事会として戦い続けてまいりました。コロナウイルスという困難のなかで、インカレは必要なのだろうか？練習環境が不十分・不平等な中で開催されるインカレは、インカレと呼べるのであろうか？など様々な議題に対して、連日zoomや対面で議論を交わしてきました。議論を重ねる中で、そうした問いに対する自分の気持ちに近い回答のような意見に出会いました。それは、「インカレは希望である」というものです。モチベーションを維持するのが難しい今だからこそ、インカレという希望の光があることで学生みんなの心をつなぎとめることができる。インカレという目標があるからこそ学生は厳しい状況の中でもトレーニングをできる。だから今インカレが必要であると、私は強く感じています。

もちろん戦い続けたのは幹事会だけではありません、開催ができるようにここまで尽力して下さった実行委員会の皆様、インカレに出場できるようにと大学と交渉し続けてくれた各校の主将や渉外の方々。そしてこのような難しい状況であるにもかかわらず、我々のことを受け入れて下さった矢板市の皆様、活動に理解をしてくださり参加許可を出して下さった各大学の皆様。すべての方に感謝を申し上げます。

最後に、私が好きなドラマ「半沢直樹」で、主人公である半沢直樹は次のように述べていました。「仕事は感謝と恩返し」であると。私は今回のインカレでは選手の皆さんに、困難な状況でもオリエンテーリングを楽しめる環境を用意して下さったすべての人に感謝し、恩返しとして最高のレースをする、「感謝と恩返しのオリエンテーリング」をぜひしていただきたいと考えています。



10月を迎え朝晩は都会でも秋らしくなってきましたが、いつもの矢板トレインよりかなり高所にある今回の“栃木県県民の森”は、すでに秋真っ盛りの心地よい状態になっているものと思います。毎度毎度になりますが、ようこそ栃木県においで下さいました。心より歓迎申し上げます。

低山で整備された山林が多く残る本県では、全日本がこれまでに5回され、学生選手権(インカレ)に至っては本大会で(中止となった2019年度春インカレも含めて)20回目の開催ということになります。記念すべき20回目の大会にして、本大会は当協会の後援ではなく初めて共催という形にさせていただいています。元々県民の森トレインは、全国規模の大きなイベントの話が持ち上がった時に順次開発していこうと当県内では前から計画していたところでした。学連からお話を頂いた時に今後の拡張を展望した上で新規トレインをまず使用することに賛同したものです。内部組織の弱い当協会ですので、運営の主力は学連の若いOBOGの皆さんのエネルギーに頼った体制が取れる時に初動の開拓ができるのは幸いの至りです。

しかも新型コロナウイルスの感染拡大がまだまだ収まらない中、苦勞しての開催となっています。本年3月の矢板市での春インカレは中止、この秋インカレもスプリントと宿泊は叶わず、ロング種目のみの単日開催となりました。今回は県有林範囲のみの開催であり、県の管理当局の許可を得られれば開催はできる状況にあったのですが、万全なコロナ対策で渉外も運営準備も通常よりかなり多くの苦勞を要しています。本当に“何とか”“最大限努力して”“やっとか”開催できる競技会となりました。賛同して集まって下さったスタッフの方々にはお礼の言葉しかありません。また参加する学生の皆さんも、各大学で対応が違う管理体制の中、普段はしなくてよい大学側との交渉を経て苦勞して参加されている方も多くとお聞きます。そこまでして集まって開催するインカレという競技会の開催意義を栃木県協会としても一緒に噛みしめる、そんな大会になればと思います。

最後に、県管理当局からの指示で無観客試合となりました大変な不便をおかけします。まだ本トレインを利用するイベントは今後も計画されます、ということでお許しいただきたいと存じます。皆様のご活躍を祈念して、そして大会開催にこぎつけた本大会に関わるすべての皆さまのご努力をリスペクトして、ご挨拶とさせていただきます。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

1 はじめに

1.1 開催内容

本大会では、日本学生オリエンテーリング選手権実施規則 2.1 項に定められた『ロング・ディスタンス競技部門』（以下、選手権の部）を開催します。同時に、選手権の部に出場しない日本学連加盟員のための競技部門（以下、一般の部）を開催します。

1.2 略称、呼称

要項3では、以下の略称、呼称を使用することがあります。

分類	略称、呼称	正式名称、備考
大会	インカレ	日本学生オリエンテーリング選手権大会
規則・ 規程	インカレ実施規則	日本学生オリエンテーリング選手権実施規則
	ISOM2017-2	International Specification for Orienteering Maps 2017
組織	日本学連	日本学生オリエンテーリング連盟
競技部門・ クラス	ロング	個人ロング・ディスタンス競技部門
	選手権の部	インカレ実施規則第2.1項に定められた ロング・ディスタンス競技部門
	一般の部	選手権の部に出場しない日本学連加盟員のための競技部門

1.3 用語説明

要項3では、競技に関して以下の用語を使用することがあります。

用語	意味
リフトアップ スタート	スタートユニットからEカードを離して出走するスタート方式 (本大会で採用している方式)
パンチング フィニッシュ	計時線通過時をフィニッシュタイムとする方式とは異なり、フィニッシュを示すユニットにて記録した時刻を正式なフィニッシュタイムとする方式

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

2

タイムテーブル

時刻	選手権の部	一般の部
8:30	選手権待機所 開場	会場・駐車場 開場
	受付開始	
10:15		受付終了
10:30		競技開始
11:30		スタート閉鎖
12:00	選手権待機所 入場締め切り 受付終了	
12:30	競技開始	
13:30		フィニッシュ閉鎖
13:35	スタート閉鎖	
13:45	地図販売開始	
15:30	表彰式・閉会式	
15:50	フィニッシュ閉鎖	
16:50	調査依頼受付締め切り	
17:15	会場閉鎖	

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細チーム
オフィシャルスタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

3 大会全般

3.1 主管の連絡先

主管の連絡先を以下に示します。大会当日は基本的に電話で、それ以外の期間はメールで連絡してください。

▼大会当日(10月18日(日))

競技責任者 : 松尾 怜治
TEL : 080-2982-7587
メール : icsl2020_info@googlegroups.com

▼大会当日以外

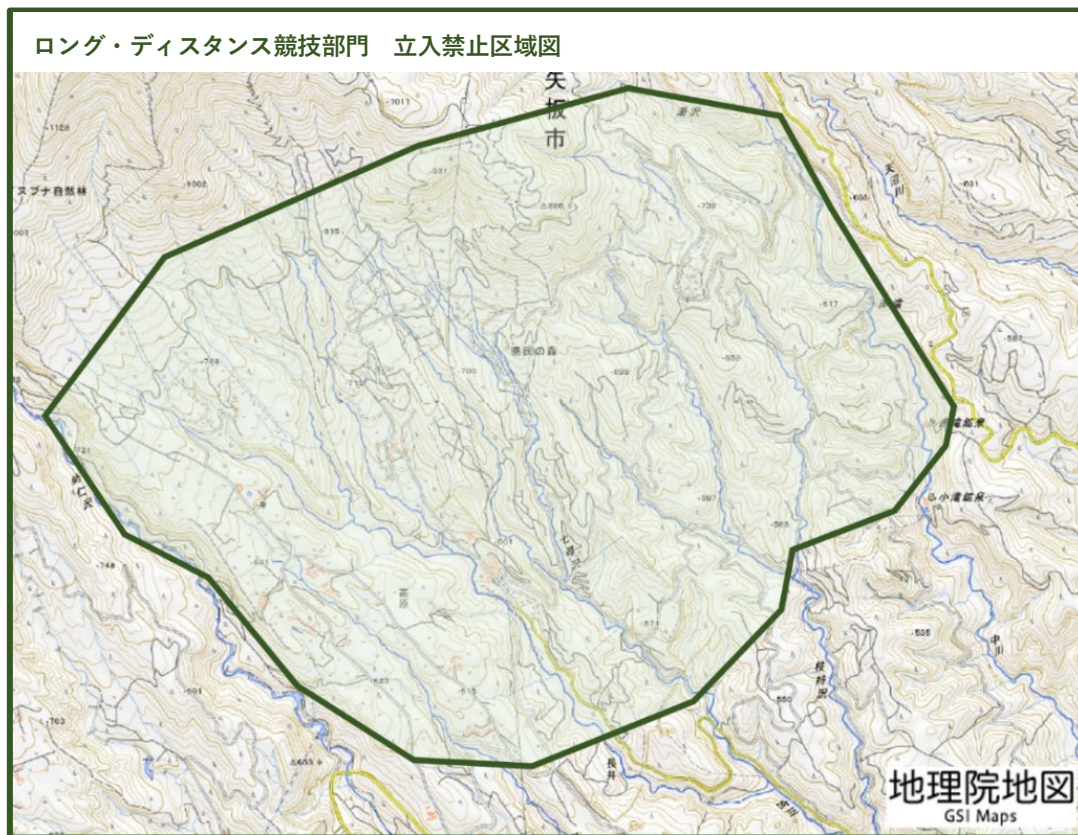
メール : icsl2020_info@googlegroups.com

3.2 大会公式Webサイト

<http://www.orienteering.com/~icsl2020/>

3.3 立入禁止区域

本大会への参加を予定している者(チームオフィシャル含む)は、本大会終了までの期間、立入禁止区域へのオリエンテーリング目的(トレイン視察含む)での立ち入り行為を禁止します。なお、立入禁止区域周辺道路の利用は妨げません。



※地理院地図(<https://maps.gsi.go.jp/>)を加工して作成

3.4 トレーニングトレイン・モデルイベント

設けません。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

3.5 受付

本大会の受付は選手権の部は選手権スタート待機所にて、一般の部は大会本部にて行います。オフィシャルはいずれか一方で受付を行ってください。

選手権の部の受付時間は 8:30～12:00、一般の部の受付時間は 8:30～10:15 です。

各大学の代表者は感染防止に関する申告書を受付に提出してください。配布物はこの申告書と引き換えに大学単位での配布となります。選手権の部出場者分の申告書は選手権スタート待機所へ、一般の部出場者分の申告書は大会本部へ提出が必要となります。**(両方の部に選手を登録している大学はそれぞれの受付で提出が必要)**

申告書の書式は事前に大会公式ウェブサイトで公開します。事前に記入の上、提出してください。**受付で待機の際は大会役員の指示に従い、前後の人と間隔を確保してください。**

<配布物提供>

- ・ レンタル E カード
- ・ レンタル E カード番号一覧表
- ・ バックアップラベル
- ・ ナンバーカード
- ・ GPS ベスト(対象者のみ)

レンタル E カードおよび GPS ベストは表彰式後に大学単位で受付に返却してください。

<チームオフィシャルの変更>

当日のオフィシャル変更は、変更後のオフィシャルが **2 週間前からの行動履歴の記録があること**、およびガイドライン記載の**参加見合わせ事項に該当しない**ことを条件に認めます。

<E カード番号の変更>

個人所有の E カードの使用を申請した者が、E カード番号の変更を希望する場合は、受付に備え付けの用紙に変更内容を記入し、受付に提出してください。

また、事前申し込みで個人所有の E カードの使用を申請した者が、レンタル E カードを希望する場合は、別途、レンタル料(300 円/日)が必要です。

申請した番号と異なる E カードを無断で利用した場合は失格とすることがあります。

3.6 選手変更申請

選手変更は、選手権の部のみ受け付けます。申請は各地区学連単位で受け付けます。選手交代を行う地区学連は、以下の通り申請を行ってください。

▼必要事項

- ・ 地区学連名 ・ 対象クラス(ME/WE) ・ 欠場する選手の氏名、学校名、学年
- ・ 交代出場する選手の氏名、学校名、学年、E カードのレンタル有無、マイ E カード番号

▼申請方法

10 月 17 日(土)16 時までに、実行委員会アドレス(icsl2020_info@googlegroups.com)までメールにて申請してください。上記の必要事項が記載されていれば、様式は問いません。

3.7 欠場連絡

今大会では感染症の流行に伴い、**欠場する場合は必ず連絡が必要**です。

受付の際に必ず欠席者の申告をしてください。大学単位で欠場する場合など、当日会場に来場できない場合は(icsl2020_info@googlegroups.com)までメールでの連絡をお願いします。

3.8 観戦

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、選手権の部・一般の部出場者およびチームオフィシャル以外は会場内への立ち入りは認めません。
- ・ 選手権の部において中継映像を含むライブ配信、及び GPS トラッキングの公開を行います。それぞれ専用のサイト(当日 12:00 に大会公式 Web サイトにて公開予定)にアクセスすることで、自身の PC やタブレット、スマートフォンから観戦できます。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

3.9 大会適用規則

本大会では、インカレ実施規則が適用されますが、下記の条項を不適用条項とします。
競技規則は下記から確認いただけます。

(<http://www.orienteering.com/~uofj/?blogid=1&catid=6&itemid=53>)

▼不適用条項とその変更内容

4.7

(前略)各校に認められるチームオフィシャルの人数は、以下のとおりとする。

男子クラスの~~選手権への~~選手登録に対して
2名

女子クラスの~~選手権への~~選手登録に対して
2名

<変更内容>

選手権クラス/一般クラス問わずチームオフィシャルを帯同させることができます。

8.3

スタート間隔は、ロング(中略)は少なくとも2
1分間はとるものとする。

<変更内容>

新型コロナウイルス感染症対策を鑑み、集合時刻の繰り下げと競技時間確保を両立するため、スタート間隔を1分といたします。

19.1

競技用地図は、以下のように表記される。

縮尺 1:15000 の地図に対して以下の規定を採用し、それ以外の縮尺の地図に対してはこれを単純拡大したものを使用します。

- ・オリエンテーリングの開始地点は、
正三角形(1辺7 6mm)。
- ・コントロールは、円(直径6 5mm)。
- ・フィニッシュは、2重同心円
(直径5 4mmと7 6mm)。

<変更内容>

ISOM2017-2に準拠します。

20.1

危険回避のための立ち入り禁止の範囲 ~~すべての立ち入り禁止区域~~は、斜めクロスのハッチングをする。その他の理由による立ち入り禁止の範囲は、垂直のハッチングをする。

<変更内容>

ISOM2017-2に準拠します。

3.10 過去の気象情報

本大会が開催される10月18日の、栃木県塩谷町周辺における過去5年間の気象情報を以下に示します。本大会のテレインは、この観測地点から北へ約12 km、標高が350 m 程度高い場所に位置しています。

日付		気温 [°C]			日照時間 [h]	降水量 [mm]	平均風速 [m/s]
		最高	最低	平均			
2019年	10月18日	16.5	12.6	14.2	0.0	6.5	0.9
2018年	10月18日	20.2	8.4	13.4	7.3	0.0	1.5
2017年	10月18日	18.7	4.3	11.0	6.2	0.0	1.3
2016年	10月18日	26.4	13.4	19.2	8.0	0.0	1.0
2015年	10月18日	23.4	10.8	16.9	7.7	0.0	1.1

▼観測地点

栃木県 塩谷
北緯 36 度 45.4 分
東経 139 度 53.0 分

▼参考情報

気象庁ホームページの
気象統計情報

<http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

3.11 傷害保険

傷害保険は大会期間における競技の最中及び自宅から競技会場までの往復途上に適用されます。怪我等により治療を受けた場合は、以下のとおり保険金が支払われます。

- ・死亡、後遺障害・・・130 万円
- ・入院・・・・・・・・・・1,500 円/日（180 日限度）
- ・通院・・・・・・・・・・1,000 円/日（事故の日から 180 日以内で 90 日限度）

参加者は、健康保険証と本人確認書類(運転免許証等)を持参してください。

この傷害保険についての問合せ・保険の請求等については、実行委員会までご連絡ください。

3.12 忘れ物

本大会の忘れ物は、大会終了後約 1 ヶ月間保管します。忘れ物の情報は、大会公式 Web サイトにてお知らせします。

3.13 大会中止時の対応

以下の場合には、大会を中止します。ご了承ください。

- ・天候悪化や感染症流行などの事情により、主管者が参加者の安全を確保できないと判断した場合。
- ・周辺交通機関・道路状況のトラブル等により、参加者の大半が来場できない場合、または来場できないと予想される場合。

大会中止時の案内は、当日朝6:00までに大会公式Webサイトに掲載します。

3.14 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する注意事項

▼大会参加前

- ・大会への参加は、自分自身の健康状態を十分考え、絶対に無理はしないでください。参加に当たっては、以下に示す注意事項に従い、感染の恐れがある場合は参加を控えてください。
- ・大会公式 Web サイトに掲載している様式を利用し、**大会前 2 週間の行動履歴を記録してください。**
- ・新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)のインストールおよび運用を行ってください。**接触通知があった場合は、必ず事前に実行委員会に連絡し相談してください。**
- ・大会前の直近 14 日以内に海外からの渡航履歴がある場合。ただし帰国後に PCR 検査を実施し陰性であった場合は、この限りではありません。

▼大会参加中

- ・会場および選手権待機所の入場時には検温を行います。**体温が 37.5℃以上の場合は入場を認めません。**
- ・競技中以外はマスクまたはバフ等で口元を覆い、**飛沫拡散の防止に努めてください。**
- ・会場内の複数箇所に消毒用アルコールを設置します。不特定多数の方が触れる可能性もあるものを扱う際には、手指の消毒をお願いします。
- ・大声での応援は控えてください。ただし鳴り物や拡声器の使用は制限しません。各大学で**感染拡大防止・ソーシャルディスタンスの確保**に配慮した上で、応援の方法を工夫してください。
- ・その他、大会参加にあたっては以下に示すガイドラインに従って行動してください。

日本学生オリエンテーリング選手権大会開催における新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン：
<http://www.orienteering.com/~icsl2020/bulletin.html#5>

▼大会参加後

- ・大会開催後 2 週間以内に新型コロナウイルスへの感染が発覚した場合は、速やかに大会主催者まで連絡してください。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

3.15 その他の注意事項

▼各種通信機器の使用に関する注意

- ・競技の公平性担保のため、選手権の部出走者およびチームオフィシャルは、スタート待機所および選手権クラススタート地区において、携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等各種通信機器の使用を禁止します。
- ・また、競技会場、一般クラススタート地区および誘導区間では、**一般の部出走者およびチームオフィシャルも、10:30~12:00の時間に限り、同様の通信機器の使用を禁止**します。
- ・通信機器を使用した場合、理由の如何により大学単位で失格とする場合があります。やむを得ず通信機器を使用する場合は、大会本部にて使用の許可を必ず得てください。
- ・上記の理由により、**プログラムは該当箇所を事前に印刷することを推奨します。**

▼GPS 機器の使用に関する注意

- ・GPS による位置情報ログの取得が可能な時計等の通信機器について、**競技補助目的・地図閲覧目的での使用を禁止**します。

▼撮影・広報に関する注意

- ・本大会では、大学スポーツ協会(UNIVAS)および実行委員会による写真・映像の記録を実施します。**競技エリア内での競技風景の撮影(追走含む)やドローンによる空撮を予定しています。**
- ・大会の様子は「UNIVAS」のホームページでアーカイブ配信が予定されています。撮影は、競技運営の妨げにならないよう配慮しておりますが、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。
- ・大会に出場する選手の情報については、大会プログラムへの掲載、会場内での成績表配布や場内アナウンス、加盟団体や関係機関、マスメディア等の報道機関への情報提供、送付(ホームページ掲載を含む)、本連盟の公式ホームページ、Facebook 等の SNS への画像や映像の掲載を行うことがあります。
- ・また、本大会で実行委員会が撮影した全ての写真・映像は、大会報告書およびオリエンテーリングの普及・広報活動(新聞、雑誌、広報誌、Web サイト、チラシ等)のために利用させていただくことがあります。
- ・登録選手は、日本学生オリエンテーリング連盟が主催する試合、大会において、選手の肖像、映像、氏名等(以下「選手の肖像等」という)が報道、放送されること及び当該報道、放送に関する選手の肖像等に関する使用の許諾を与えるものとします。

▼その他の注意

- ・テレイン内(競技会場含む)には要項およびテクニカルミーティング資料を除く、立入禁止区域内の地図およびそれに類するもの(O-Map、行政図、写真、イラストなど)の持込を禁止します。持ち込んだことが発覚した場合は、学校単位での失格などの措置を取ることがあります。
- ・テレイン内での火気の使用、飲酒は禁止します。
- ・競技会場内では危険防止のため、競技時以外に走らないようにしてください。**特に、応援時に競技会場内を走り回ることを固く禁止します。**悪質な場合、何らかのペナルティを課すことがあります。
- ・すべての競技者、チームオフィシャルは、競技より優先される不慮の事故が発生した場合には、最寄りの役員、もしくは大会本部に連絡してください。
- ・自分で出したゴミは必ずお持ち帰りください。
- ・参加者が自分自身あるいは第三者へ与えた損傷、損害、損失について、主催、主管はその責任を負いません。
- ・貴重品や車等の管理は各自でお願いします。紛失、盗難、破損に対し主催、主管は一切責任を負いません。

▼宿泊に関するお願い

- ・インカレ参加に当たり、矢板市内の宿泊施設に宿泊する方(個人手配を含む)は、矢板市行政からのリサーチアンケートへのご協力をお願いします。本部テントへお越しください。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

4 会場へのアクセス

4.1 会場所在地

大会会場・一般の部駐車場：栃木県県民の森 全国育樹祭記念緑地（栃木県矢板市長井）
選手権の部スタート待機所：栃木県県民の森 植樹祭記念緑地公園（栃木県矢板市長井）

4.2 アクセスマップ

<会場案内図>



<会場周辺詳細図>



ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

4.3 降車場について

会場までの道中には、降車場を設置いたします。運転者が車を回送する場合に限り、ここで車を降りて徒歩で会場へ向かうことができます。タクシーやチャーターバスでお越しになる場合、駅まで車で往復する場合、一般の部の出場者が降車してから選手権の部駐車場に戻る場合などにご利用ください。降車場や周辺の混雑回避のため、一般の部と選手権の部の出場者は極力分乗してのご来場をお願いします。

降車場から会場までは0.8 km、徒歩15分です。テープ誘導は設けませんが、プログラム記載の詳細地図に従い、舗装道路から外れずに会場へ向かってください。交通や競技の妨げにならないようご配慮をお願いします。特に一般の部駐車場まで車で向かう場合は、安全に細心の注意を払い、最徐行してください。なお、ここで得た競技情報を選手権の部の出場者及び同伴するオフィシャルに伝達することを禁止いたします。

降車場から会場までの区間は、開場から選手権の部の競技終了まで(8:30-15:50)、会場方面への一方通行とします。したがって、一度降車場より先に進んだ者は、選手権の部競技終了まで会場から戻ることはできません。

また、選手権の部の競技開始から競技終了まで(12:30-15:50)、この区間を車両通行止とします。選手権の部の競技開始以降に選手権の部駐車場から会場へ行くチームオフィシャルは、降車場に駐車して徒歩で会場へ向かうことができます。降車場の駐車可能台数には限りがあるため、可能な限り少ない台数での移動をお願いします。降車場までの移動手段がない場合、役員にその旨をお知らせください。

競技が行われている間、帰宅や負傷者の搬送のために会場から降車場方面に戻る必要がある場合は、必ず本部にその旨を報告し、指示に従ってください。

選手権の部の競技終了以降(15:50-)は、会場から降車場方面への一方通行とします。降車場と選手権の部駐車場との間の往復は可能です。選手権の部駐車場までの移動手段がない場合、役員にその旨をお知らせください。

4.4 車・チャーターバスでの来場

必ず上記の指定経路に従ってお越しください。

▼車の場合

出場するクラスに従って指定の駐車場をご利用ください。

▼チャーターバスの場合

必ず事前に icsl2020_info@googlegroups.com へその旨をご連絡ください。

選手権の部駐車場には直接お越しになれますが、会場へお越しになる場合は降車場で下車し、徒歩でお向かいください。チャーターバスを待機させる場合は選手権の部駐車場または県民の森管理事務所前の駐車場をご指定ください。

4.5 公共交通機関での来場

必ず上記の指定経路に従ってJR矢板駅からタクシーまたは徒歩でお越しください。

▼タクシーの場合

事前に予約することを推奨いたします。

JR矢板駅から会場までの所要時間は約30分です。

選手権の部駐車場には直接お越しになれますが、会場へお越しになる場合は降車場で下車し、徒歩でお向かいください。タクシーを待機させる場合は選手権の部駐車場または県民の森管理事務所前の駐車場をご指定ください。

▼徒歩の場合

JR矢板駅から会場までの距離は約20 km、所要時間は約4時間です。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

5 競技情報

5.1 競技形式

ロング・ディスタンス競技

5.2 地図仕様

縮尺／等高線間隔	<選手権の部> 1:15,000／5m <一般の部> 1:10,000／5m
走行可能度	4段階表記
地図サイズ	A4
地図表記	ISOM2017-2準拠
耐水性	透明ビニール袋封入済み
コントロール位置説明	JSCD2008準拠
特殊記号	✕ 人工特徴物 ○ 炭焼き窯

5.3 コントロール位置説明表

コントロール位置説明表は地図に印刷されています。また、スタート2分前枠にて配布します。

※寸法は60mm x 180mmを超えません。

5.4 コース概要・競技時間

ロング・ディスタンス競技					
コース設定者：橘 孝祐					
選手権の部 競技時間：2時間15分					
クラス	距離 [km]	登距離 [m]	優勝設定 [分]	給水位置 [%]	
ME	8.9	600	80	35,55,75	
WE	5.3	335	65	20,55,80	
一般の部 競技時間：2時間00分					
MUL1	4.5	280	45	30	
MUL2	4.4	285	45	30	
MUL3	4.6	295	45	30	
MUL4	4.4	290	45	30	
WUL	3.2	185	40	-	
MUS	3.0	165	30	-	
WUS	2.5	155	30	-	
MUF	2.8	155	30	-	
WUF	2.4	135	30	-	

申込多数により、MULクラスを複数レーンに分割しています。

- ・距離はスタートから全てのコントロールを経由したフィニッシュまでの直線距離、登距離は最速と予想されるルートでの値です。
- ・給水位置はコース距離に対する割合を示しています。給水についての詳細は[5.13節](#)をご確認ください。(ルートチョイスによっては給水を通らない可能性もあります。)
- ・競技時間を越えた選手は失格となります。その場合は、**競技中でも**速やかにフィニッシュに向かってください。

5.5 テレインの概要

競技が行われる栃木県民の森は、標高 500～800m に位置し、野鳥や植物の種類に富み、自然観察に適した自然公園である。テレイン内には、キャンプ場や多数の小径が存在する一方、急峻な尾根と沢が発達したエリアや緩斜面エリアが混在している。植生はいわゆる矢板テレインと異なる部分が多く、概して通行可能性が高い。今大会開催に向け作成された、完全新規地図である。

5.6 公式掲示板

- ・一般の部スタート地区および選手権の部スタート待機所に公式掲示板を設置します。
- ・新型コロナウイルス感染症対策の観点から、公式掲示板の内容は**事前に大会公式Webサイトに掲載**します。
- ・要綱3発行後の変更点や連絡など、参加者に対する公式な情報はすべてこの掲示板を通じて告知します。

5.7 テクニカルミーティング

テクニカルミーティングは実施しません。代替資料を 10 月 11 日(日)中に大会公式 Web サイトに掲載します。資料公開後、10 月 14 日(水)23:59 までを質問受付期間とします。質問は主管者のメールアドレス (icsl2020_info@googlegroups.com) に送信してください。詳細は資料に記載します。回答は 10 月 16 日(金)中に Web 掲載し、大会当日に公式掲示板にも掲載します。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

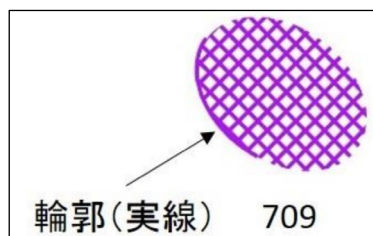
大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

5.8 テレイン・コースの注意事項

- ・テレイン内には立入禁止区域が存在します。立ち入った場合には失格となります。また、ISOM2017-2 709 立入禁止区域に上にパープルの実線(709 立入禁止区域の境界線)で表記された箇所には、現地に青黄色テープを張ります。



- ・テレイン内には危険箇所が存在します。地図上での表記はありませんが、現地には青黄色テープで注意喚起をしています。
- ・選手権および一般クラスで車道を横断する箇所があります。一部役員を配置しますが、必ず自らで安全を確認した上で道路を横断してください。

5.9 服装および所持品

- ・公序良俗に反する服装での出走を禁止します。
- ・テレイン内にヤマビルが生息している可能性があります。ご注意ください。
- ・出走にはEカードおよびナンバーカードの着用が必要です。

5.10 GPSトラッキング

- ・選手権の部出走者の一部を対象にGPSトラッキングを実施します。対象者はテクニカルミーティング資料にて公表します。
- ・GPSトラッキングの対象となっている選手は、スタート待機所にてGPSベストを受け取ってください。サイズはS,M,Lの3種類から選択できます。なお、本人が受け取れない場合は代理人が受け取ることができます。



GPS端末およびGPSベスト

- ・GPS端末は、選手権の部スタート地区にて装着します。
- ・GPS端末は電波の送信状況が悪い場合、音が鳴る場合があります。

5.11 ナンバーカード

- ・ナンバーカードは大会受付で配布します。
- ・選手権の部出場者は選手1人につき2枚を、それぞれ胸と背中の見やすい位置に水平に付けてください。一般の部出場者は、選手1人につき1枚を、胸の見やすい位置に水平に付けてください。
- ・ナンバーカードは安全ピンで四隅を固定してください。**安全ピンは各自で準備してください。**

5.12 パンチングシステム

全てのクラスにおいてEMIT社の電子パンチング計時システム(Eカード)を使用します。Eカード使用上の注意事項を以下に記します。

- ・通過証明としては、Eカードへの電子記録またはバックアップラベルの記録のみを採用いたします。
- ・同じ番号のコントロールで続けて2回以上パンチした場合は、最初のパンチのみが記録されます。
- ・途中で誤ったコントロールのパンチが記録されていても、正しい順番で回ったことが確認できれば完走と認めます。
- ・Eカードへの電子的な加工は認めません。バックアップラベルをテープ等で固定することは認めます。
- ・エントリー時に申請した場合に限り個人所有のEカードの使用を許可します。申し込みの際に登録した番号と異なるEカードを無断で使用した場合は失格とすることがあります。
- ・個人所有のEカードを忘れた場合は、主管者側で用意したEカードを貸し出します。その場合、レンタル料(300円)を徴収します。希望者は、大会受付に申し出てください。
- ・レンタルEカードを紛失もしくは破損した場合、弁償金として実費を徴収します。

5.13 給水所・救護所

会場内に救護所を設けます。

また、テレイン内に給水所および救護所を設

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

けます。地図上において救護所は十字のマーク、給水所はコップのマークで示されます。

有人の給水所および救護所には、紙コップに注がれた状態の飲料水が用意されています。無人の給水所でも、給水の際は必ず紙コップを使用してください。**使用後の紙コップは、設置されているごみ袋に各自で捨ててください。**

5.14 調査依頼、提訴

▼調査依頼

各校は、インカレ実施規則に対する違反について調査依頼を行うことができます。大会受付に用意する所定の文書にて申請してください。調査依頼の受付は、選手権の部のみ大会本部にて行います。

調査依頼の受付期限は、**16:50(フィニッシュ閉鎖の1時間後)**とします。

調査依頼に対する回答は公式掲示板に掲示します。

▼提訴

調査依頼に対する回答に疑義がある場合は裁定委員会に対して提訴を行うことができます。大会受付に用意する所定の文書で申請してください。提訴の受付は、大会本部で行います。

提訴の受付期限は、**調査依頼の回答が通知されてから15分後**です。

提訴は裁定委員会によって裁定が下されます。提訴に対する裁定委員会の判断は最終的なものとなります。関係者に通知される他、大会報告書にて報告されます。

なお、裁定委員会の構成は公式掲示板にて告知いたします。

5.14 ドーピング検査

- ・本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。
- ・本大会参加者およびチームオフィシャルは、日本アンチ・ドーピング規程に従ってください。
- ・ドーピング検査の対象となった本大会参加者は、役員の指示に従ってください。なお、身分証明のため、大会参加者は学生証・免許証等の写真により本人確認が可能なものを持参してください。
- ・本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示

に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意してください。

- ・血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意してください。
- ・日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、JADAのウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認してください。

5.15 シード選手

日本学連理事会により、シード選手として、以下の選手が指定されています。これらの選手はスタート時刻と間隔について配慮されています。

▼ME(3名)

小牧 弘季	(筑波大学 4)
朝間 玲羽	(東京大学 3)
大石 洋輔	(早稲田大学 4)

▼WE(5名)

小林 祐子	(東北大学 4)
宮本 和奏	(筑波大学 4)
香取 瑞穂	(立教大学 4)
世良 史佳	(立教大学 4)
伊部 琴美	(名古屋大学 4)

5.16 使用テーパー一覧

	赤白色	競技中における すべての 誘導
	青色	【一般の部】 競技会場～スタート地区の誘導
	青黄色	立入禁止区域の外郭・危険区域

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

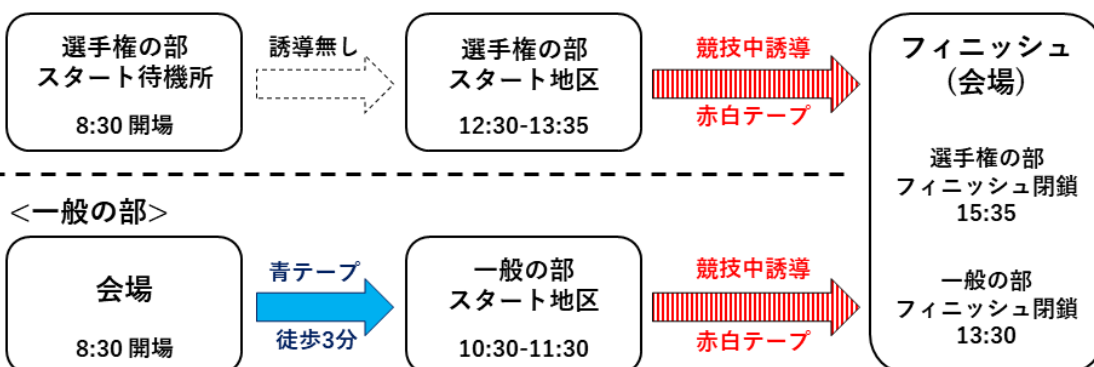
インカレ
実施規則

歴代入賞者

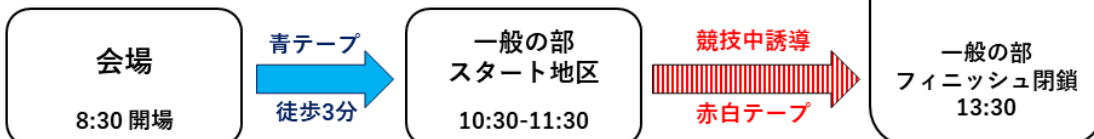
6 ロング・ディスタンス競技詳細

6.1 当日の流れ

<選手権の部>



<一般の部>



6.2 会場



ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

- ・会場への入場の際、全ての参加者およびチームオフィシャルはゲートで検温を受けてください。
- ・会場内では、ウォームアップエリア利用の際を含めマスクを着用してください(競技中除く)。
- ・一般クラスでは、参加者の密集を防止するため、公式掲示板はウェブ上で公開します。また、成績速報所は設けません。
- ・女子更衣室内での密集を防ぐため、一度に入室できる人数を制限します。大会役員の指示に従ってください。スペースが限られているため、事前に着替えていただくことを推奨します。
- ・トイレの使用後の手洗いを徹底してください。

6.3 スタート待機所

選手権のみ

- ・入場の際、全ての参加者およびチームオフィシャルはゲートで検温を受けてください。
- ・スタート待機所へは選手権の部出場者およびチームオフィシャルのみが入ることができます。ただし、選手権の部出場者の輸送のために一般の部出場者が待機所駐車場に入ることは妨げません。
- ・選手権の部出場者およびチームオフィシャルは、8:30 から 12:00 までに待機所受付にて感染防止に関する申告書と引き換えに配布物をお受け取りください。
- ・受付後、12:00 までは駐車場内に戻っても構いませんが、12:00 以降は待機所内で待機してください。
- ・公式掲示板を設置します。選手は出走前に必ず確認してください。
- ・一部選手には待機所受付にて GPS ベストを配布します。出走までに着用してください。着用する選手はテクニカルミーティング資料で公表します。
- ・ウォームアップエリアを設けます。
- ・待機所内では、ウォームアップエリア利用の際を含めマスクを着用してください(競技中除く)。
- ・雨を避けることができるテントが設置されています。
- ・トイレ(男 1・女 1・共用 1)が利用できます。
- ・飲食が可能です。
- ・待機所内およびスタート地区では、GPS 機能付き時計を除く一切の通信機器の仕様を禁じます。また、GPS による位置情報ログの取得が可能な時計等の通信機器についても、競技補助目的・地図閲覧目的での使用を禁止します。
- ・スタート待機所から会場への荷物輸送は、原則チームオフィシャルが行ってください。ただし、チームオフィシャルが不在の場合は、主管による荷物輸送を行います。利用する場合はネームタグを配布しますので、荷物に付けてください。ただし、輸送間隔は不定期であり、荷物の到着が遅くなる可能性があります。
- ・待機所から会場へのチームオフィシャルの輸送を行います。運航時刻については当日待機所にて告知します。

6.4 スタート地区までの移動

▼選手権の部

- ・スタート待機所内にあります。

▼一般の部

- ・競技会場から青色テープ誘導で徒歩 3 分です。

※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、スタート地区に給水を設けません。また密集を避けるため、長時間滞留することの無いよう、各自で時間調整してお越しください。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

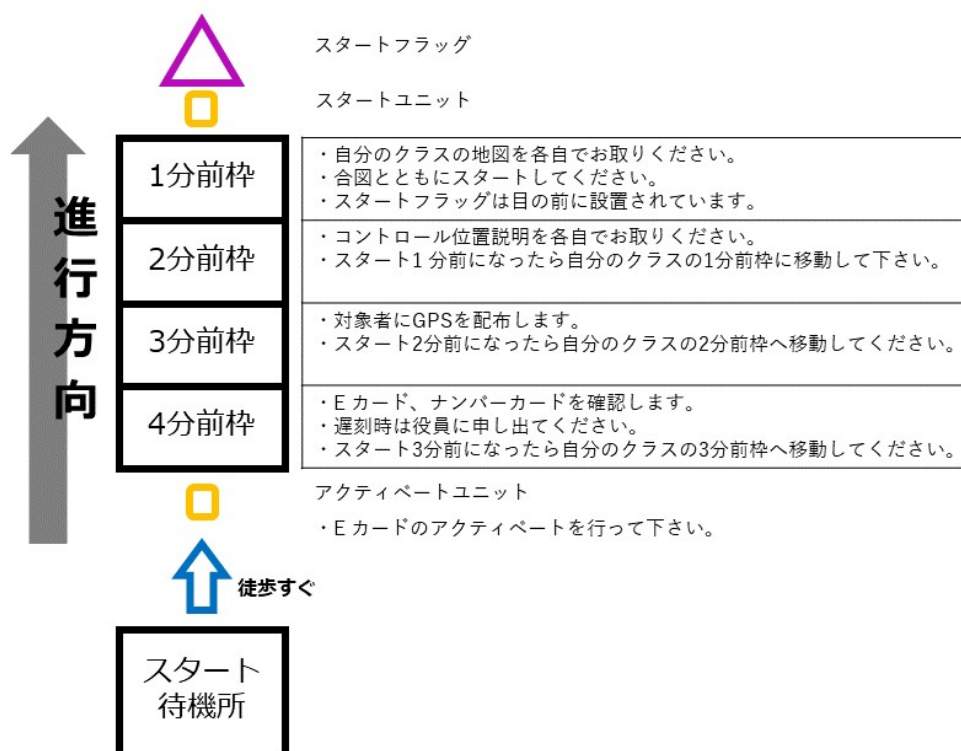
インカレ
実施規則

歴代入賞者

6.5 スタート地区

- ・スタート地区での案内は原則として自動音声対応としています。ただし、Eカードの不調、遅刻等のトラブルの際は、直接大会役員にお声がけください。
- ・ナンバーカードおよびEカードのない選手は出走できません。
- ・選手権の部、一般の部ともに1分間隔でリフトアップスタートします。
- ・スタートチャイマーは4秒前からブザーが鳴ります。フライングにご注意ください。
- ・選手権の部では、一部選手に対しスタート地区にてGPS端末が配布されるので、役員の指示に従って装着してください。
- ・一度スタートした選手は必ずフィニッシュを通過するか、何らかの方法でEカードをフィニッシュに提出してください。提出がない場合は未帰還者として搜索の対象となります。
- ・スタート閉鎖時刻は、選手権の部は13:35、一般の部は11:30です。

▼選手権の部 スタート地区レイアウト図



ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

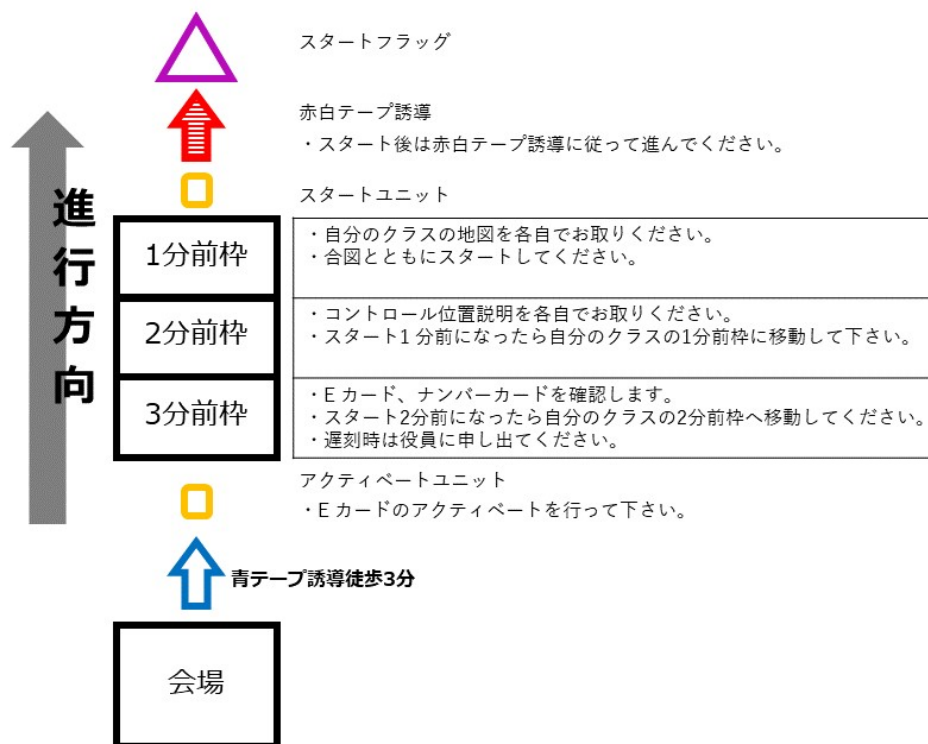
参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

▼一般の部 スタート地区レイアウト図



6.6 遅刻スタート

- ・スタートに遅刻した選手はスタート地区の役員に申し出て下さい。その後、役員の指示に従ってください。
- ・計時はスタートリストに記載されている時刻から開始されます。
- ・他の選手の都合により、すぐにスタートできない場合があります。
- ・16分以上の遅刻は参考記録となります。

6.7 競技時間

- ・選手権の部は2時間15分、一般の部は2時間です。
- ・競技時間を超えると失格となります。競技時間を超えそうな場合は、競技中でも速やかにフィニッシュに向かってください。

6.8 フィニッシュ

- ・最終コントロールからは**赤白テープ誘導**に従って進んでください。これに従わなかった場合は失格とします。
- ・一度スタートした選手は必ずフィニッシュを通過するか、何らかの方法でEカードをフィニッシュに提出してください。提出が

ない場合は未帰還者として搜索の対象となります。

- ・パンチングフィニッシュとします。
- ・フィニッシュ後、計算センターにてGPS端末を回収します。
- ・選手権の部では、フィニッシュ後にインタビューを行う場合があります。感染症拡大防止のため、フィニッシュでマスクを配布しますので、必ず着用してください。
- ・GPSベストは、レース後、大会受付にて回収します。
- ・地図回収は行いません。未出走の選手には地図を見せないようにしてください。
- ・Eカードは役員の指示に従って提出してください。記録の読み取りを行った後、その場で選手に返却します。Eカードを提出できない選手は失格とします。
- ・フィニッシュ閉鎖時刻は、選手権の部が15:50、一般の部が13:30です。
- ・フィニッシュでは一切の調査依頼を受け付けません。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

6.9 調査依頼

- ・調査依頼を行う場合は、フィニッシュ後、速やかに調査依頼用紙に必要事項を記入し、本部へ提出してください。調査依頼用紙は大会受付に用意します。
- ・選手権の部の調査依頼の提出期限は、16:50(フィニッシュ閉鎖の1時間後)です。一般の部の調査依頼は受け付けません。

6.10 表彰式・閉会式

- ・表彰式は15:30から行います。

表彰対象者は放送で招集するので、指示された場所に速やかに集合してください。

- ・一般の部、選手権の部の順に表彰します。
- ・選手権の部は、男女上位1名を2020年度ロング・ディスタンス競技選手権者として、選手権の部男女上位6名を入賞者として表彰します。また、選手権の部の日本学連初年度登録者の男女上位1名を特別表彰します。
- ・一般の部は各クラス上位3名を表彰します。
- ・表彰式終了後、閉会式を行います。



生涯現役

♪旅はまだ終わらない♪

(有) ヤマカワオーエンタープライズ Web: <http://www.orienteering.com/~ymoe/index.html>
メール: rmo-s.yamakawa@nifty.com BGM: 中島みゆき "ヘッドライト・テールライト"

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

7 チームオフィシャル

チームオフィシャルは、大会受付(会場もしくは選手権スタート待機所)で配布するIDカードを必ず身につけてください。

加盟校名	氏名
岩手大学	高橋 郁磨
	松本 陸
東北大学	北見 匠
	長岡 凌生
	伊東 加織
	青芳 龍
北海道大学	塩平 真士
宮城学院女子大学	一宮 奈津美
	古谷 洸
金沢大学	山本 哲也
	吉田 涼哉
	二瓶 勢真
お茶の水女子大学	中島 緑里
慶應義塾大学	上島 浩平
	清水 俊祐
	桃井 陽佑
千葉大学	岡田 翔太
	中野 航友
	中谷 広樹
	森谷 風香
筑波大学	藤井 範久
	楠 健志
	小竹 佳穂
	増澤 すず
東京大学	大田 将司
	新田見 優輝
	大橋 陽樹
	小林 美咲
東京農工大学	石坪 夕奈
	小野 裕登
東京理科大学	柴沼 健
	森田 夏水
法政大学	佐藤 遼平
横浜国立大学	稲森 剛
	石井 悠太
	村田 茉奈美
立教大学	三上 拓真
早稲田大学	齋藤 佑樹
	長谷川 望
	高橋 利奈

加盟校名	氏名
実践女子大学	村井 智也
	比企野 純一
一橋大学	横堀 聖人
相模女子大学	杉山 真理
東京工業大学	若松 甫
	田口 滉一
日本女子大学	久野 公愛
	三好 将史
津田塾大学	木村 るび子
茨城大学	奥尾 優理
	七五三 碧
横浜市立大学	濱野 奎
	平松 夕衣
	篠塚 みずき
関東学院大学	藤原 真吾
	吉澤 雄大
十文字学園女子大学	谷口 文弥
	宮本 樹
静岡大学	桑山 倫博
	瀧下 真一
	山本 智士
	片桐 悟
名古屋大学	竹内 公一
	林 雅人
	岩垣 和也
椋山女学園大学	河村 優花
	藤井 菜実
大阪大学	川口 真司
	塚越 真悠子
	出田 涼子
京都大学	今松 亮太
	岩井 龍之介
	森河 俊成
	山本 明史
神戸大学	佐野 萌子
	川島 聖也
奈良女子大学	中川 真緒

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

8 スタートリスト

8.1 選手権の部

・★印はシード選手です。

ME(1/2) 参加人数62			
スタート時刻	氏名	学校・学年	Eカード番号
12:30	羽田拓真	横浜国立大学2	510454
12:31	宮川靖弥	東京工業大学3	507471
12:32	本庄祐一	東京大学2	レンタル
12:33	今野陽一	東北大学3	240420
12:34	太田知也	京都大学4	506233
12:35	伊藤元春	東京大学3	レンタル
12:36	嶋崎渉	東北大学4	236139
12:37	田中琉偉	法政大学3	244602
12:38	伊藤良介	京都大学3	507411
12:39	石崎建	金沢大学4	509880
12:40	宮嶋哲矢	千葉大学4	240110
12:41	菅沼友仁	茨城大学4	239639
12:42	五十嵐央人	金沢大学4	509778
12:43	蘭部駿太	東北大学4	235937
12:44	平岡丈	京都大学2	510640
12:45	谷平光一	名古屋大学4	238897
12:46	金子哲士	東北大学4	236043
12:47	高橋英人	一橋大学4	236128
12:48	棚橋一樹	名古屋大学4	502496
12:49	高木一人	北海道大学2	250417
12:50	永山遼真	筑波大学2	506122
12:51	山田基生	東北大学4	236135
12:52	本田明良	静岡大学4	505256
12:53	山内優太	広島大学4	511175
12:54	住吉将英	名古屋大学4	239000
12:55	鈴木京佑	横浜市立大学4	505264
12:56	唐木朋也	東北大学4	236041
12:57	櫻井一樹	東京工業大学4	507480
12:58	小林直登	名古屋大学2	510392
12:59	和佐田祥太郎	京都大学3	レンタル
13:00	倉地草太	北海道大学4	506391
13:01	石渡望	東北大学4	236039
13:02	栗生啓介	名古屋大学3	507355
13:03	清水慎太郎	広島大学4	レンタル
13:04	阿部遼太郎	横浜市立大学3	507533
13:05	池田匠	早稲田大学3	502867
13:06	鈴木琢也	横浜国立大学3	509456
13:07	二俣真	京都大学2	510495
13:08	高橋洸太	東京工業大学4	507478
13:09	丸山ゆう	京都大学4	506242
13:10	野口晃太郎	北海道大学3	506395
13:11	石川創也	名古屋大学4	502497
13:12	根本啓介	筑波大学2	レンタル
13:13	和田佳文	静岡大学3	505257
13:14	古池将樹	京都大学4	506234
13:15	名雪青葉	筑波大学3	レンタル
13:16	保莉優	東北大学4	236044
13:17	小林尚暉	東京大学3	レンタル
13:18	江野弘太郎	慶應義塾大学4	505266
13:19	小寺義伸	東京工業大学4	507479
13:20	片岡佑太	大阪大学4	505105

MEエントリーリストは右上に続く

ME(2/2) 左下の続き			
スタート時刻	氏名	学校・学年	Eカード番号
13:21	★朝間玲羽	東京大学3	レンタル
13:22	森倭渡	北海道大学3	506499
13:23	谷野文史	筑波大学4	505190
13:24	清水嘉人	北海道大学3	506392
13:25	豊田健登	茨城大学4	239653
13:26	★小牧弘季	筑波大学4	507742
13:27	伊藤頌太	慶應義塾大学3	507476
13:28	竹下晴山	茨城大学3	506230
13:29	津田卓磨	横浜国立大学4	505311
13:30	祖父江有祐	筑波大学2	レンタル
13:31	★大石洋輔	早稲田大学4	510609

WE 参加人数35			
スタート時刻	氏名	学校・学年	Eカード番号
12:30	須本みずほ	椋山女学園大学3	245058
12:31	松本萌恵	神戸大学2	510331
12:32	土田千聖	名古屋大学3	244546
12:33	大栗由希	茨城大学3	506123
12:34	菊地美里	東北大学2	249305
12:35	近藤花保	名古屋大学2	510352
12:36	松田千果	横浜市立大学4	505211
12:37	阿部悠	実践女子大学3	244709
12:38	明神紀子	聖心女子大学3	244654
12:39	山崎璃果	椋山女学園大学3	245057
12:40	片岡茅悠	東京大学4	レンタル
12:41	藤井春菜	北海道大学2	レンタル
12:42	今井里奈	椋山女学園大学2	510350
12:43	五十嵐羽奏	名古屋大学3	244542
12:44	★小林祐子	東北大学4	236032
12:45	猪股紗如	千葉大学2	511061
12:46	山根萌加	京都大学3	507413
12:47	長瀬麻里子	お茶の水女子大学2	251256
12:48	永山尚佳	神戸大学3	507477
12:49	★香取瑞穂	立教大学4	レンタル
12:50	富永万由	早稲田大学4	507512
12:51	清野幸	横浜国立大学4	505263
12:52	高橋茉莉奈	大阪大学2	510490
12:53	上島じゅ菜	お茶の水女子大学2	251255
12:54	★伊部琴美	名古屋大学4	502491
12:55	岩崎佑美	慶應義塾大学3	507531
12:56	菊池美結	岩手大学3	245717
12:57	秋山美玲	早稲田大学4	507428
12:58	多田明加	金沢大学3	509777
12:59	★世良史佳	立教大学4	236153
13:00	井上千帆里	相模女子大学4	505315
13:01	栗山ももこ	横浜市立大学2	510449
13:02	中神智香	静岡大学3	505255
13:03	八木橋まい	東北大学4	236132
13:04	★宮本和奏	筑波大学4	512387

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

MUL1 参加人数47			
スタート時刻	氏名	学校・登録年度	Eカード番号
10:30	石井洋一郎	東京大学2	レンタル
10:31	竹花佳祐	東北大学3	240489
10:32	得能渉	千葉大学4	240249
10:33	森谷恵吾	北海道大学3	506500
10:34	市川礼偉	横浜市立大学3	507409
10:35	新井宇宙	早稲田大学3	507425
10:36	山崎嘉津人	東京工業大学2	512245
10:37	竹安宏曜	東京大学2	レンタル
10:38	柿沼晴喜	筑波大学4	レンタル
10:39	萱尾澄人	大阪大学3	507506
10:40	笹部龍仁	京都大学3	レンタル
10:41	村井智哉	東北大学2	249324
10:42	中嶋律起	横浜国立大学4	505308
10:43	小林亮太	岩手県立大学4	504994
10:44	瀬田龍之介	金沢大学4	509881
10:45	豊澤義文	東京工業大学4	248897
10:46	鈴木遼賀	岩手大学2	251267
10:47	水野涉吾	静岡大学3	248968
10:48	水流尚樹	千葉大学4	240114
10:49	村田温基	東北大学3	240564
10:50	佐藤佑亮	東京大学2	レンタル
10:51	京屋陽介	名古屋大学3	507354
10:52	根岸健仁	一橋大学2	210117
10:53	橋本大佳	福島大学3	210993
10:54	長井翔太郎	京都大学2	510641
10:55	板垣星哉	慶應義塾大学2	240503
10:56	川崎拓巳	東京理科大学2	510614
10:57	林昇吾	関東学院大学3	507410
10:58	衣笠匠斗	東京大学2	レンタル
10:59	秋元郁	早稲田大学3	507429
11:00	堀内颯介	茨城大学2	509757
11:01	坂本健悟	東北大学4	236038
11:02	青木航流	東京工業大学3	509769
11:03	川西翔貴	東北大学2	249304
11:04	平岩伊武季	筑波大学2	506126
11:05	相馬哲兵	東京大学2	レンタル
11:06	犬山瑛斗	北海道大学2	250418
11:07	森川輔	千葉大学2	228337
11:08	小森直人	芝浦工業大学2	251154
11:09	大槻賢二郎	東北大学3	240523
11:10	高木大誠	金沢大学2	509775
11:11	網優希	早稲田大学2	510507
11:12	浴本悠貴	神戸大学2	510599
11:13	川端将也	大阪大学2	510493
11:14	岩田慈樹	京都大学3	507520
11:15	中田成央	東京農工大学3	239526
11:16	中島怜士	東京農工大学2	239632

MUL2 参加人数47			
スタート時刻	氏名	学校・登録年度	Eカード番号
10:30	長南光紀	福島大学3	210685
10:31	富安蓮	北海道大学2	250419
10:32	大久保壮途	東京大学2	レンタル
10:33	菅野裕貴	横浜市立大学4	505267
10:34	高野陽平	神戸大学4	507592
10:35	伊藤拓馬	東北大学4	236030
10:36	矢田祐喜	静岡大学3	248967
10:37	佐藤隆	東京工業大学2	512243
10:38	竹重拓輝	大阪大学3	507507
10:39	大西諒哉	千葉大学2	228231
10:40	鳥野祐作	東京大学2	レンタル
10:41	徳地研人	京都大学4	506120
10:42	森恒大	筑波大学3	レンタル
10:43	竹山翔悟	早稲田大学3	507528
10:44	稲毛隆太	東北大学2	249299
10:45	栗山朋大	横浜国立大学2	510453
10:46	西原大貴	東北大学2	249314
10:47	速水駿	名古屋大学3	507352
10:48	若月俊宏	東京工業大学3	509625
10:49	本多一成	千葉大学4	511067
10:50	福留悠斗	金沢大学4	509781
10:51	松井俊樹	静岡大学2	251465
10:52	箕浦皓	京都大学3	レンタル
10:53	伊藤嵩真	東京大学3	レンタル
10:54	松原佑季	一橋大学2	250513
10:55	田淵ヒカル	慶應義塾大学3	507743
10:56	嶋崎彰人	関東学院大学2	240502
10:57	藤澤康	東北大学2	249320
10:58	有澤達哉	東京大学3	レンタル
10:59	上保望	早稲田大学3	222788
11:00	堀江直人	東北大学4	236141
11:01	根岸龍宏	筑波大学2	レンタル
11:02	末満寛太	北海道大学2	220428
11:03	瀧井健介	東京工業大学3	509867
11:04	原柊斗	岩手大学3	レンタル
11:05	藤原悠平	東京大学3	レンタル
11:06	吉田玄	千葉大学2	511059
11:07	山田峻大	東北大学3	240595
11:08	松井泰道	早稲田大学3	510591
11:09	菅野正太	福島大学4	210594
11:10	濱崎大暉	金沢大学3	509776
11:11	野沢星雅	茨城大学4	239640
11:12	前川光鷹	東京理科大学3	507427
11:13	中野海斗	神戸大学2	510552
11:14	吉田薪史	大阪大学4	505107
11:15	大石征裕	東京農工大学 大学院3	239624
11:16	安齋音哉	東京農工大学3	239625

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細チーム
オフィシャルスタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

MUL3 参加人数46			
スタート時刻	氏名	学校・登録年度	Eカード番号
10:30	波根峻介	東北大学2	249318
10:31	石渡雄也	関東学院大学3	507406
10:32	木村陸人	金沢大学2	509774
10:33	井上匠梧	京都大学2	510643
10:34	大鶴啓介	東京大学4	レンタル
10:35	碓井玲	横浜国立大学2	251936
10:36	加藤千晴	東北大学3	240454
10:37	豊田俊哉	神戸大学3	507593
10:38	櫻木嵩斗	東京工業大学4	507472
10:39	佐野良我	慶應義塾大学2	510556
10:40	星彩斗	福島大学2	210645
10:41	河野隼司	東京大学3	レンタル
10:42	磯邊岳晃	千葉大学4	511069
10:43	木本琢登	早稲田大学3	502506
10:44	武田信悟	北海道大学2	レンタル
10:45	小林哲郎	東北大学3	240530
10:46	森田邦夫	静岡大学3	505347
10:47	篠原幹博	京都大学4	507551
10:48	村田千真	筑波大学3	レンタル
10:49	竹市葵	群馬大学2	510284
10:50	高野智也	東北大学4	236035
10:51	吉仲瑞貴	京都大学2	レンタル
10:52	池田直樹	東京大学4	レンタル
10:53	笠井虹汰	千葉大学3	240111
10:54	藤井悠輝	名古屋大学3	507346
10:55	稲島一真	金沢大学4	509780
10:56	大川将司	横浜国立大学2	240242
10:57	三浦開登	東京工業大学4	509771
10:58	用松知樹	慶應義塾大学2	510559
10:59	葛西裕樹	東北大学2	249302
11:00	西浦裕	東京大学3	レンタル
11:01	井土宙	静岡大学2	231471
11:02	立松空	早稲田大学2	510497
11:03	寺田直加	東北大学3	240423
11:04	金城和志	大阪大学4	507459
11:05	藤本紘哉	北海道大学3	506498
11:06	福田拓亮	東京工業大学3	509869
11:07	井坂将隆	東北大学3	240425
11:08	柏田芳樹	一橋大学4	236017
11:09	脇田耀介	東京大学2	レンタル
11:10	西田直入	茨城大学3	506118
11:11	菅波崇志	筑波大学2	レンタル
11:12	澤田直志	早稲田大学2	510594
11:13	伊地知淳	千葉大学3	511166
11:14	板橋侑樹	東京農工大学4	239626
11:15	小田隼士	東京農工大学3	239627

MUL4 参加人数47			
スタート時刻	氏名	学校・登録年度	Eカード番号
10:30	宮岡竜也	早稲田大学2	510502
10:31	小林俊介	東北大学3	240593
10:32	高柳知朗	筑波大学4	レンタル
10:33	仲長航	一橋大学2	250512
10:34	塚田翔太	東京工業大学2	512136
10:35	清水有希	金沢大学4	509779
10:36	到津春樹	茨城大学4	239641
10:37	イルマズ恵明	京都大学2	レンタル
10:38	楊泓志	横浜国立大学2	510452
10:39	松本明訓	東京大学4	レンタル
10:40	高橋直道	東北大学3	240524
10:41	岡田航太郎	東京理科大学2	810801
10:42	上田皓一郎	立命館大学2	510659
10:43	松本諒	福島大学4	210422
10:44	藤澤達也	東京大学2	レンタル
10:45	生田峻	関東学院大学4	231887
10:46	浴歩輝	東京工業大学4	248853
10:47	古閑駿介	東北大学3	240422
10:48	中林優樹	慶應義塾大学2	251476
10:49	河野駿介	静岡大学2	220394
10:50	岩佐一大	千葉大学4	506389
10:51	向井悠真	京都大学2	510485
10:52	渡邊寛希	筑波大学大学院4	レンタル
10:53	石田健太郎	早稲田大学4	502599
10:54	高松暉	筑波大学2	レンタル
10:55	根本夏林	東京大学4	レンタル
10:56	倉田瞭一	東京工業大学3	509520
10:57	君島健太	東北大学2	249306
10:58	野村峻太	北海道大学3	506397
10:59	森山凌佑	千葉大学4	240250
11:00	杉村天	神戸大学2	510443
11:01	小池翔馬	金沢大学2	509772
11:02	西平楽	東北大学4	236042
11:03	岡本哲史	京都大学3	245605
11:04	松嶋亮弥	東京大学3	レンタル
11:05	中村諒	早稲田大学3	507430
11:06	小林伸次	東北大学3	240417
11:07	森下晃成	静岡大学3	249338
11:08	富沢隆成	群馬大学3	510285
11:09	谷遼太郎	大阪大学2	510492
11:10	大西肇	北海道大学2	レンタル
11:11	萩原宏哉	東北大学2	249317
11:12	笹島建吾	茨城大学3	506231
11:13	脇田晃秀	名古屋大学3	507350
11:14	田頭樹	慶應義塾大学2	511057
11:15	荒川悠人	東京農工大学3	239517
11:16	伊藤隼太郎	東京農工大学3	239523

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

WUL 参加人数45			
スタート時刻	氏名	学校・登録年度	Eカード番号
10:30	鈴木春音	名古屋大学3	507347
10:31	楊馨逸	早稲田大学4	502507
10:32	崎原美咲紀	千葉大学2	511060
10:33	池ヶ谷みのり	一橋大学3	244595
10:34	武石瑞季	岩手大学2	250375
10:35	佐藤珠穂	法政大学4	236054
10:36	西谷彩奈	筑波大学大学院4	502492
10:37	溝渕賀子	神戸大学2	510561
10:38	藤平歩	実践女子大学4	236053
10:39	藤田奈津美	奈良女子大学3	510598
10:40	矢倉美励	千葉大学2	228338
10:41	林咲友	神戸大学2	510441
10:42	安藤瑠乃	椋山女学園大学4	239003
10:43	駒崎成美	神戸大学2	510496
10:44	佐久間若菜	筑波大学4	507375
10:45	阿部朱莉	東京理科大学3	510613
10:46	鈴木日菜	実践女子大学3	244759
10:47	橋本花恵	茨城大学4	レンタル
10:48	坂根歩実	実践女子大学2	251257
10:49	加藤涼子	慶應義塾大学2	510456
10:50	藤井明日香	関東学院大学3	507744
10:51	榎戸麻衣	日本女子大学2	510508
10:52	大塚彩加	北海道大学2	レンタル
10:53	田村一紗	横浜市立大学4	505310
10:54	小笠原萌	奈良女子大学4	510553
10:55	佐藤美那子	横浜国立大学3	507535
10:56	松本環	早稲田大学3	507423
10:57	重岡慧実	京都大学2	レンタル
10:58	金子詩乃	日本女子大学4	502596
10:59	中野真優	椋山女学園大学4	239146
11:00	富山詩央里	実践女子大学3	244660
11:01	刈谷まりい	椋山女学園大学4	239005
11:02	菅原真優	日本女子大学4	502595
11:03	中村沙耶	椋山女学園大学4	239115
11:04	小林璃衣紗	青山学院大学3	251925
11:05	太田伊代香	北海道大学2	レンタル
11:06	坂巻朱里	十文字学園女子大学2	251261
11:07	明田彩里	椋山女学園大学3	244528
11:08	三浦快嶺	福島大学4	210901
11:09	山賀千尋	大阪大学3	510447
11:10	志村紫保	東京大学3	レンタル
11:11	三上夏生	横浜国立大学2	510558
11:12	泉山実和奈	神戸大学2	510551
11:13	稲辺穂乃香	東京農工大学4	731004
11:14	砥石真奈	東京農工大学4	239522

MUS 参加人数51			
スタート時刻	氏名	学校・登録年度	Eカード番号
10:39	村中結希	京都大学3	レンタル
10:40	小川誠人	静岡大学2	レンタル
10:41	安部智晴	名古屋大学4	239002
10:42	坂野公紀	静岡大学2	レンタル
10:43	岩崎雄也	名古屋大学2	251160
10:44	鈴木璃土	筑波大学2	レンタル
10:45	日比浩喜	東京大学4	レンタル
10:46	藤田宏貴	名古屋大学2	510248
10:47	河野弘士	東京工業大学2	512322
10:48	吉川辰也	名古屋大学2	251169
10:49	枝澤勇太	京都大学3	レンタル
10:50	木村詠吉	東京工業大学2	512325
10:51	豊永雄郎	京都大学4	レンタル
10:52	野田聡	東京工業大学2	507370
10:53	細野祐	群馬大学2	510286
10:54	龍堀巧	東北大学4	236151
10:55	大友秀太	東京工業大学2	512324
10:56	戸塚務	東北大学4	235938
10:57	新家康弘	名古屋大学3	245025
10:58	細川敦司	静岡大学3	220400
10:59	櫻井千尋	名古屋大学2	510244
11:00	富岡恒介	東北大学4	236028
11:01	浅田雄一	名古屋大学3	507351
11:02	石川諒	東北大学2	249297
11:03	村上淳哉	名古屋大学4	239040
11:04	石森晃	東北大学4	235833
11:05	椿原暖人	名古屋大学2	251166
11:06	金澤晴樹	京都大学3	507414
11:07	伊藤寛之	名古屋大学2	251271
11:08	大場隆太郎	東京工業大学3	509768
11:09	飯田晟樹	名古屋大学4	231844
11:10	大友将樹	東京工業大学2	512326
11:11	大森総司	名古屋大学4	239041
11:12	後庵野大輔	東北大学3	240613
11:13	鈴木海斗	名古屋大学2	510247
11:14	阿保匠真	東北大学2	249265
11:15	牧島滉平	広島大学2	レンタル
11:16	木村宇快	東京工業大学2	512391
11:17	松本阜佑	名古屋大学2	510239
11:18	長野那由多	東京工業大学2	512139
11:19	早坂鴻志	東北大学2	249319
11:20	井上祐人	名古屋大学4	239043
11:21	山田大雅	中央大学4	レンタル
11:22	佐藤颯太	静岡大学2	レンタル
11:23	時任晴央	東北大学2	249311
11:24	田牧将馬	名古屋大学4	239014
11:25	千葉滉平	東北大学3	240616
11:26	井口大雅	広島大学2	レンタル
11:27	桑山陽次	東北大学2	249308
11:28	小丸幸佑	京都大学3	レンタル
11:29	舟木大河	東北大学2	249321

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

WUS 参加人数33			
スタート時刻	氏名	学校・登録年度	Eカード番号
10:50	横山由奈	東北大学3	240458
10:51	門松歩美	立教大学3	244704
10:52	工藤藍花	十文字学園女子大学2	レンタル
10:53	久住結香	東北大学4	236134
10:54	久保田愛	日本女子大学2	510607
10:55	水上玲奈	東北大学2	239520
10:56	初野春菜	実践女子大学2	レンタル
10:57	栗本美緒	津田塾大学4	236055
10:58	高倉玲衣	宮城学院女子大学3	240418
10:59	松本芽依	横浜市立大学2	510455
11:00	仲田有沙	実践女子大学2	251258
11:01	佐藤加奈	立教大学3	244711
11:02	佐々木亜珠	宮城学院女子大学3	231756
11:03	高野玲奈	横浜市立大学2	510458
11:04	中川和音	日本女子大学2	510509
11:05	植村日向	椛山女学園大学3	244529
11:06	小久保茉優	立命館大学2	レンタル
11:07	神谷梨央	椛山女学園大学2	251265
11:08	佐藤隆奈	筑波大学2	レンタル
11:09	藤中美波	日本女子大学2	510590
11:10	杉山桃菜	十文字学園女子大学4	250407
11:11	中川いちか	横浜市立大学2	240505
11:12	木村瑠月	東北大学4	235940
11:13	山口慈	奈良女子大学3	228223
11:14	久米明日香	神戸大学2	510332
11:15	中井愛実	奈良女子大学2	510562
11:16	宇佐美綾野	宮城学院女子大学2	248849
11:17	杉浦野乃子	椛山女学園大学2	510349
11:18	佐藤汐子	宮城学院女子大学4	236143
11:19	野口珠希	筑波大学3	レンタル
11:20	佐藤可菜	宮城学院女子大学4	236146
11:21	住谷遥	日本女子大学2	510498
11:22	中村莉子	宮城学院女子大学3	240594

MUF 参加人数19			
スタート時刻	氏名	学校・登録年度	Eカード番号
10:30	岩崎隼也	岩手大学1	レンタル
10:31	満田壮晴	大阪大学1	レンタル
10:32	松久侑生	立命館大学1	レンタル
10:33	今井悠	慶應義塾大学1	240610
10:34	村山蒼悟	岩手大学1	レンタル
10:35	倉上英	慶應義塾大学1	240504
10:36	高橋忠大	東北大学1	レンタル
10:37	飯田健太	神戸大学1	レンタル
10:38	浅井蓮	静岡大学1	レンタル
10:39	清水嘉之	神戸大学1	レンタル
10:40	浦部健二	慶應義塾大学1	240506
10:41	橋本遼佑	神戸工業高等専門学校1	レンタル
10:42	池田馨	神戸大学1	レンタル
10:43	高井遥貴	静岡大学1	レンタル
10:44	山内颯大	立命館大学1	レンタル
10:45	山田凌平	岩手大学1	レンタル
10:46	徳力雅哉	立命館大学1	レンタル
10:47	金子隼人	東京大学1	レンタル
10:48	菊池賢悟	岩手大学1	レンタル

WUF 参加人数8			
スタート時刻	氏名	学校・登録年度	Eカード番号
10:30	佐藤頌子	大阪大学1	レンタル
10:31	福田有紗	国際基督教大学1	レンタル
10:32	石井ゆみ	大阪大学1	レンタル
10:33	澤木彩	大阪大学1	レンタル
10:34	林里美	大阪大学1	レンタル
10:35	吉田菜々子	東京理科大学1	510612
10:36	高野澄佳	大阪大学1	レンタル
10:37	栈敷優輝	神戸松蔭女子学院1	レンタル

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

9

参加者数一覧

コード	学校名	加盟員数	ME	WE	MUL	WUL	MUS	WUS	MUF	WUF	出場計	欠場計
101	岩手大学	23	0	1	2	1	0	0	4	0	8	15
102	東北大学	72	8	3	26	0	12	4	1	0	54	18
103	北海道大学	35	5	1	8	2	0	0	0	0	16	19
142	宮城学院女子大学	9	0	0	0	0	0	6	0	0	6	3
144	岩手県立大学	10	0	0	1	0	0	0	0	0	1	9
145	福島大学	19	0	0	5	1	0	0	0	0	6	13
201	金沢大学	25	2	1	8	0	0	0	0	0	11	14
203	新潟大学	76	0	0	0	0	0	0	0	0	0	76
235	金沢工業大学	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
301	青山学院大学	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
302	お茶の水女子大学	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0
303	慶應義塾大学	18	2	1	6	1	0	0	3	0	13	5
305	千葉大学	23	1	1	11	2	0	0	0	0	15	8
306	中央大学	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
307	筑波大学	28	6	1	8	1	1	2	0	0	19	9
309	東京大学	41	4	1	19	1	1	0	1	0	27	14
310	東京農工大学	19	0	0	7	2	0	0	0	0	9	10
311	東京理科大学	6	0	0	3	1	0	0	0	1	5	1
313	法政大学	3	1	0	0	1	0	0	0	0	2	1
315	横浜国立大学	20	3	1	5	2	0	0	0	0	11	9
316	立教大学	6	0	2	0	0	0	2	0	0	4	2
317	早稲田大学	29	2	2	12	2	0	0	0	0	18	11
319	実践女子大学	7	0	1	0	4	0	2	0	0	7	0
341	一橋大学	6	1	0	4	1	0	0	0	0	6	0
342	電気通信大学	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
350	相模女子大学	8	0	1	0	0	0	0	0	0	1	7
356	東京工業大学	51	4	0	12	0	8	0	0	0	24	27
362	聖心女子大学	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1
364	日本女子大学	11	0	0	0	3	0	4	0	0	7	4
368	芝浦工業大学	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
369	津田塾大学	5	0	0	0	0	0	1	0	0	1	4
370	気象大学校	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
372	茨城大学	26	3	1	5	1	0	0	0	0	10	16
377	筑波大学大学院	2	0	0	1	1	0	0	0	0	2	0
378	横浜市立大学	14	2	2	2	1	0	3	0	0	10	4
379	東京農工大学大学院	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
384	関東学院大学	9	0	0	4	1	0	0	0	0	5	4
388	国際基督教大学	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
390	群馬大学	8	0	0	2	0	1	0	0	0	3	5
391	十文字学園女子大学	4	0	0	0	1	0	2	0	0	3	1
395	フェリス学院大学	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
401	静岡大学	34	2	1	7	0	4	0	2	0	16	18
402	名古屋大学	53	6	4	4	1	16	0	0	0	31	22
441	名古屋工業大学	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
444	椋山女学園大学	31	0	3	0	5	0	3	0	0	11	20
501	大阪大学	27	1	1	6	1	0	0	1	5	15	12
504	京都大学	46	7	1	11	1	5	0	0	0	25	21
506	神戸大学	21	0	2	5	4	0	1	3	0	15	6
507	立命館大学	6	0	0	1	0	0	1	3	0	5	1
541	京都女子大学	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
545	奈良女子大学	10	0	0	0	2	0	2	0	0	4	6
-	神戸工業高等専門学校	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
-	神戸松蔭女子学院	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
601	広島大学	6	2	0	0	0	2	0	0	0	4	2
	計	899	62	35	187	45	51	33	19	8	439	460

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細チーム
オフィシャルスタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

実行委員長	岡崎 良昭 (栃木県協会)	副実行委員長	荻田 育徳 (栃木県協会)
競技責任者	松尾 怜治 (東京14)	競技副責任者	猪俣 祐貴 (東京13)
運営責任者	桑 潤哉 (東京14)	運営副責任者	小泉 知貴 (慶應義塾13)
コースプランナー	橘 孝祐 (横浜国立13)	コースアドバイザー	石澤 俊崇 (早稲田93)
渉外責任者	山川 克則 (栃木県協会)	渉外副責任者	宮川 早穂 (立教12)
広報責任者	桑原 大樹 (東京13)		
会計責任者	堀江 優貴 (東北14)		
人事責任者	瀬川 出 (東京14)		
エントリー責任者	佐藤 俊太郎 (東北14)		
会場チーフ	濱宇津 佑亮 (東京15)		
受付チーフ	木村 史依 (金沢13)		
交通チーフ	平山 遼太 (東京14)		
スタートチーフ	増田 七彩 (東京13)	スタートサブチーフ	原田 龍馬 (東北12)
フィニッシュチーフ	直井 萌香 (筑波13)	フィニッシュサブチーフ	大西 正倫 (東京13)
演出チーフ	中村 茉菜 (早稲田13)		
配信チーフ	小柴 滉平 (筑波12)	配信サブチーフ	坂野 翔哉 (東京理科14)
救護チーフ	香取 菜穂 (千葉15)	救護サブチーフ	井倉 幹大 (東京13)
資材担当	友田 雅大 (早稲田14)		
Web担当	秋山 周平 (大阪13)		
コロナ対策担当	八神 遥介 (東北02)		
大会キャラ担当	増田 七彩 (東京13)		

尾崎 高志 (早稲田01)	瀬尾 峻汰 (京都13)	大竹 達也 (金沢13)
石神 愛海 (実践女子13)	吉澤 佳奈 (日本女子14)	大類 茉美 (フェリス女学院14)
稲垣 善太 (早稲田14)	犬塚 眞太郎 (早稲田13)	針生 佳奈 (宮城学院女子13)
小林 重信 (東北86)	浅井 迅馬 (京都13)	小泉 佳織 (津田塾09)
友田 賢吾 (東京経済18)	北川 賢也 (横浜市立15)	有賀 裕亮 (早稲田14)
伊藤 樹 (横浜国立15)	砂原 和允 (東京工業13)	結城 克哉 (東京09)
山岸 夏希 (筑波15)	前中 脩人 (東京13)	戸谷 みのり (奈良女子15)
田中 大貴 (一橋13)	池 陽平 (北海道02)	保坂 拡香 (宮城学院女子13)
金山 柚佳 (京都女子14)	赤井 章吾 (東北14)	石山 良太 (名古屋13)
中澤 寛典 (名古屋11編入)	八尋 弓枝 (筑波90)	黒羽 和之 (ときわ走林会)
上野 康平 (東京工業15)		

地図調査者 山川 克則 西村 徳真 宮西 優太郎 坂野 翔哉 高野 兼也

イベント・アドバイザー 佐藤 大樹 (東京工業11)

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細チーム
オフィシャルスタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

日本学生オリエンテーリング選手権実施規則

※ 条項に(ロング), (ミドル), (スプリント), (リレー)とある場合, 当該条項は, 該当する競技部門にのみ適用される。

第1章 全般的な規則

第1条 規則の適用

1.1 この規則は, 日本学生オリエンテーリング連盟(以下, 日本学連と略す)が主催する, 日本学生オリエンテーリング選手権大会(以下, インカレと略す)に適用される。

1.2 すべての選手登録者, 選手を支援する者(以下, チームオフィシャル), 競技を運営する者及びその他の併設大会参加者・観戦者・報道関係者など選手権競技者と接する者は, この規則に従う。

1.3 競技者ならびに主管者は, この規則の解釈にあたっては, スポーツとしての公正さの保持を第一義としなければならない。

1.4 インカレ実施規則で定められた事項を, 当該インカレに限定して不適用とし, 変更する必要がある場合, 2か月前までに理事会へ申し出なければならない。また, 不適用条項は技術委員会の諮問及び理事会の承認を必要とする。不適用条項と変更内容は, 要項に明記される。

1.5 インカレ以外の大会にインカレを併設して開催している場合, この規則に定める内容を不適用とする際は, イベント・アドバイザーの同意のみを必要とし, 理事会の承認を不要とする。

第2条 競技部門と競技形態・種別

2.1 インカレは, 次の8つの競技部門を設ける。

男子ロング:個人ロング・ディスタンス競技部門

女子ロング:個人ロング・ディスタンス競技部門

男子ミドル:個人ミドル・ディスタンス競技部門

女子ミドル:個人ミドル・ディスタンス競技部門

男子スプリント:個人スプリント競技部門

女子スプリント:個人スプリント競技部門

男子リレー:3名のリレー競技部門

女子リレー:3名のリレー競技部門

2.2 インカレは, すべて昼間競技で行う。

2.3 単一レース競技で行う。

2.4 (廃止)

2.5 インカレは, すべてポイント競技で行う。

2.6 男子ロング・女子ロングにおける優勝者をロング・ディスタンス競技選手権者, 男子ミドル・女子ミドルの優勝者をミドル・ディスタンス競技選手権者, 男子スプリント・女子スプリントの優勝者をスプリント競技選手権者, 男子リレー・女子リレーにおける優勝校をリレー競技選手権校とする。

第3条 日程

3.1 インカレの各競技部門の開催は, 年1回とする。

3.2 インカレの日程と正式名称は, 原則として次のとおりとする。

秋インカレ(8月～12月):ロング, スプリント

春インカレ(1月～3月):ミドル, リレー

3.3 インカレは, 開会式, 閉会式を別途行うことができる。

第4条 参加規定

4.1 選手権競技者は, 以下のすべての条件を満たす。

- ・日本学連の加盟員であること
- ・初めて日本学連に登録した年度から数えて4年以内
- ・年齢は当該年度3月31日現在29歳未満

4.2 各加盟校及び各準加盟校(以下, 各校と略す)は, 選手権競技者資格を有する者からなる選手登録名簿を申し込み時に提出する。

(ロング)

4.3 ロングの競技者数は, 男子60名, 女子30名とし, 別に定める規則によって各地区学連に配分される。但し, 別に定める規則によって, 競技者数を追加することができる。ロングの競技者は, 選手登録名簿に記載された者とする。

(ミドル)

4.4 ミドルの競技者数は, 男子60名, 女子30名とし, 別に定める規則によって各地区学連に配分される。但し, 別に定める規則によって, 競技者数を追加することができる。ミドルの競技者は, 選手登録名簿に記載された者とする。

(スプリント)

4.5 スプリントの競技者数は, 男子60名, 女子40名とし, 別に定める規則によって各地区学連に配分される。但し, 別に定める規則によって, 競技者数を追加することができる。スプリントの競技者は, 選手登録名簿に記載された者とする。

(リレー)

4.6 リレーの出場資格校は, 日本学連の加盟校及び準加盟校とする。各校は, 男女各々1チームをリレーに出場させることができる。リレーのチームは, 選手登録名簿に記載された者により構成される。但し, 男子リレーに女子選手を出場させることができる。

4.7 各校は, 選手登録者とは別に, チームオフィシャルを同行させることができる。各校は, チームオフィシャル登録名簿を申し込み時に提出する。各校に認められるチームオフィシャルの人数は, 以下のとおりとする。

男子クラスの選手権への選手登録に対して, 2名

女子クラスの選手権への選手登録に対して, 2名

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

4.8 参加者は、自己の安全に対して自分で責任を負う。参加者が負った怪我、障害、損害について主催者は一切責任をもたない。また、参加者が第三者に与えた損害についても参加者自身が責任を負う。

第5条 要項

5.1 主管者は、インカレに関する必要な情報を、要項としてすべての地区学連及び日本学連事務局へ送付あるいはWebサイトにて公開あるいはメールにて送付する。

5.2 インカレの要項の発行時期は、以下の通りとする。要項1 (6カ月前):

開催日、開催地、主管者の連絡先、競技責任者の氏名、イベント・アドバイザーの氏名、立入禁止区域

要項2 (4カ月前):

日程、トレインの概要、地図に関する情報(縮尺、等高線間隔、走行可能度表示)、トレインの標高(コースの15 %以上が1,200 mを超える場合のみ)、採用するパンチングシステム、コース設定者の氏名、トレーニング・モデルイベントに関する情報、一般クラス・併設大会がある場合その情報、観戦者のための情報、宿泊・輸送に関する情報、参加費、申込方法、申込締切日、申込用紙

要項3 (2週間前):

気象、特殊な地図表記、コース距離・登距離、優勝設定時間、特殊な位置説明、スタート時刻、競技のタイムスケジュール、集合場所、代表者ミーティングに関する情報、承認された実施規則の不適用条項と変更内容、その他競技に関する留意事項

第6条 申し込み

6.1 インカレの申し込みは、所定の用紙によって、要項2に示された締切日までに行われる。但し、選手登録名簿の変更は、大会開催の6週間前まで認められる。

(ロング、ミドル、スプリント)

6.2 各地区学連の代表者は、ロング、ミドル、スプリントにおいて、競技前日の16時までであれば、競技者を交替させることができる。

6.3(廃止)

(リレー)

6.4 リレー出場校は、リレーの競技者と競技順を競技前日の16時まで提出する。競技者に不慮の事故の場合、リレー競技開始1時間前までであれば競技者を交替させることができる。但し、この場合は裁定委員の承認を必要とする。

第7条 トレーニングとモデルイベント

7.1 事前に実際の競技で使用するものに似たトレイン・地図でのトレーニングの機会が提供されることが望ましい。

7.2 競技の前日に、モデルイベントが提供されることが望ましい。モデルイベントでは、実際の競技におけるトレインのタイプ、地図の質、コントロールの置かれる特

徴物、コントロール器具の設置状態、給水コントロールの設置状態、誘導区間のそれぞれの状況がわかることが望ましい。

7.3 電子パンチングシステムを使用する場合、モデルイベントにおいて実際の競技に用いる器具の使用機会が提供されることが望ましい。

第8条 スタート順の決定とスタートリスト (ロング、ミドル、スプリント)

8.1 ロング、ミドル、スプリントのスタート抽選は、イベント・アドバイザーの元で、あるいは公開で行われ、当該競技前日の17時までには発表される。

8.2 ロング、ミドル、スプリントにおいては、スタート順等において配慮される競技者(シード選手)を設けることができる。シード選手は、競技開催1カ月前までに理事会が決定する。シード選手の選出数は競技者の1/6程度までの人数とする。

8.3 ロング、ミドル、スプリントは、男女それぞれ1人ずつ同一の時間間隔でスタートする(タイムスタート)。スタート間隔は、ロング、ミドルは少なくとも2分間はとるものとする。スプリントは少なくとも1分間はとるものとする。

8.4 (廃止)

8.5 (廃止)

8.6 (廃止)

8.7 リレーにおけるコースの組み合わせの抽選は、イベント・アドバイザーの元で、あるいは公開で行われる。コースの組み合わせは、最後の競技者がスタートするまで秘密にされる。

8.8 リレーのスタートは、マススタートとする。

第9条 成績

9.1 成績速報は、競技進行中順次掲示される。フィニッシュ閉鎖後1時間以内にすべて掲示される。

9.2 公式成績には、失格者も含めすべての競技者が記載される。リレーの成績は、競技順・各競技者の名前と所要時間・コースの分割方法と組み合わせも記載される。

第10条 調査依頼と提訴

10.1 各校は、競技者、あるいは主管者の規則に対する違反についての調査依頼を行うことができる。調査依頼は、主管者に対し文書で行う。成績速報に関する調査依頼は、フィニッシュ閉鎖後1時間以内に行う。

10.2 調査依頼に対する主管者の回答に疑義がある場合、提訴を行うことができる。提訴は、裁定委員会に対し文書で行う。

第11条 表彰

11.1 各競技部門6位までを表彰する。

11.2 参考記録の者及び学校は表彰の対象とならない。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

第12条 報告書

12.1 各競技終了後3カ月以内に、主管者は次の内容の報告書を作成する。

- ・大会実施報告
- ・スタート順と公式成績
- ・イベント・アドバイザーの報告
- ・将来への提言

12.2 報告書は、すべての加盟校及び準加盟校、日本学連事務局、及び次年度の主管者に送付される。

第2章 競技に関する規則

第13条 テレイン

13.1 テレインは、インカレのコース設定に適していない。テレインの選定に際しては、環境保護に十分留意しなければならない。

13.2 特定の競技者が有利になることがないように、インカレ以前には出来るだけ長い期間、オリエンテーリングに使用されていないものとする。

第14条 コース

14.1 インカレのコース設定にあたっては、国際オリエンテーリング連盟(IOF)の『コース設定の原則』に従う。

14.2 コースの水準は、インカレに適格でなければならない。

14.3 コントロールを回る順番は、主管者によって指定される。競技者はこれを守り、主管者はこれを確認する。

14.4 コース上の誘導区間は、競技者は必ずこれをたどるものとする。誘導区間の開始地点には必ずコントロールを置く。

(ミドル、ロング)

14.5 男子コースと女子コースは、可能な限り別のコントロールを用いる。

14.6(廃止)

14.7 選手権以外のコースがある場合、可能な限りコントロールは別のものを用いる。

14.8 リレーでは、コントロールは分割され、チームごとに別々に組み合わせられる。全チームが順番は異なっても、全体としては同一のコースを回る。テレインとコースのコンセプトが許す場合、各走区の距離を変えることができる。全チームは、異なる距離の走区を同じ順番で走らなければならない。

14.9 個人競技種目においてはコントロールを各選手毎に異なるように組み合わせることが出来る。但し、全選手は全体としては同じコースを走らなければならない。(バタフライ)

14.10 主管者は、環境保護あるいはそれに類する理由のための指示を競技者に与えることができる。競技者は、これを厳守しなければならない。

第15条(廃止)

第16条(廃止)

第17条 距離と登距離

17.1 コースは、以下の優勝時間を想定し、設定される。

	男子	女子
ロング	70-80分	55-65分
ミドル	35-40分	35-40分
スプリント	13-15分	13-15分
リレー(各競技者)	30-50分	30-45分
リレー(合計)	120-150分	110-135分

17.2 コース距離は、スタートからすべてのコントロールを経由してフィニッシュまでの直線距離で示される。但し、物理的に通過不能な障害物(高いフェンス、湖、通れない崖等)、立ち入り禁止区域および誘導区間は、迂回した距離で測定する。

17.3 コース距離は、要項3で実際のコース距離が発表される。

17.4 登距離は最も速く走れると予想されるルートの登距離で示される。ロングの登距離は、最も速く走れると予想されるルートの距離の7 %を越えないように設定される。ミドル、リレーの登距離は、最も速く走れると予想されるルートの距離の6 %を越えないように設定される。

17.5 登距離は要項3で実際の登距離が発表される。

第18条 地図

(ロング、ミドル、リレー)

18.1 地図はJOAの『日本オリエンテーリング地図図式規程』に適合したものを使用する。特別な表記の使用は、イベント・アドバイザーの同意を必要とする。これらの変更点は、要項3に明記される。

(スプリント)

18.2 スプリントの地図はJOAの『日本スプリントオリエンテーリング地図図式』に適合したものを使用する。

18.3 地図印刷後に生じたテレイン内の変化のうち、競技に影響を与えるものは、地図上で修正される。

(ロング)

18.4 ロングに使用する縮尺は1万5千分の1で、等高線間隔は5 mとする。テレインを適切に表現するため、またはコース設定・競技上の制約等のため、これと異なる縮尺、あるいは、等高線間隔の使用は、イベント・アドバイザーの同意を必要とする。

(ミドル、リレー)

18.5 ミドル、リレーに使用する縮尺は1万分の1で、等高線間隔は5 mとする。テレインを適切に表現するため、またはコース設定・競技上の制約等のため、これと異なる縮尺、あるいは、等高線間隔の使用は、イベント・アドバイザーの同意を必要とする。

(スプリント)

18.6 スプリントに使用する縮尺は4千分の1または5千分の1で、等高線間隔は2mまたは2.5mとする。テレ

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

インを適切に表現するため、またはコース設定・競技場の制約等のため、これと異なる縮尺、あるいは、等高線間隔の使用は、イベントアドバイザーの同意を必要とする。

18.7 競技に影響を与える恐れがあり、かつ、地図からは読み取れないトレイン内のコンディションについては、遅くとも要項3で発表される。

18.8 競技用地図は、水分や損傷に耐えるように両面が保護される。

18.9 競技に使用するトレインに過去のオリエンテーリング地図がある場合、これらの地図は、競技に先立ってすべての加盟校及び準加盟校に公開される。

18.8 競技当日は、主管者の許可が出るまでは選手登録者及びチームオフィシャルが競技区域のいかなる地図を利用することも禁止する。

第19条 地図上でのコースの表記

19.1 競技用地図は、以下のように表記される。

コース設定記号の寸法は、縮尺が1:15000のときのmm単位で規定される。より大縮尺の地図の場合、記号は比例して拡大されなければならない(1:10000では150%, 1:5000では300%)

- ・オリエンテーリングの開始地点は、正三角形(1辺6 mm)。
- ・コントロールは、円(直径5 mm)。
- ・フィニッシュは、2重同心円(直径4 mmと6 mm)。
- ・誘導区間は、破線。

19.2 三角形、及び、円の中心は特徴物の正確な位置を示す。コントロールフラッグが特徴物の周囲に設置される場合でも、特徴物を中心として印刷される。

19.3 コントロールは、回る順番を指示するために、南を下にして正立された数字によって示される。

19.4 誘導区間がある場所を除き、三角形と円は、直線により、順番に結ばれる。コントロールの円とそれを結ぶ直線は、重要な地図上の表現を見えにくくする場合には、部分的に直線を切ったり、細く描いたりすることができる。

19.5 誘導区間は、すべて地図上に示される。誘導区間の終端から再びオリエンテーリングを開始する場合は、地図上で破線の終端と次のコントロールが直線で結ばれる。ただし、リレー競技におけるスタート地点からオリエンテーリング開始地点の誘導については、地図の判読性の都合上記載しなくてもよい。

19.6 コース印刷においては、透明な赤紫色、あるいは赤色を使用する。

第20条 その他の追加表記

20.1 立ち入り禁止の範囲は全てクロスハッチングにより表記する。外郭線は以下のように表記される。

- ・現地でテープなどが連続して表示される場合は、実線。
- ・現地でテープなどが間隔をおいて表示される場合は、

破線。

- ・現地で表示のない場合は、外郭線を記入しない。

20.2 通行禁止のルート(自動車道など)は、×の連続で表す。

20.3 外向きの2つの括弧)(は、コースに関した重要通過地点、経路(例:渡河地点、道の下のトンネル)を示すのに用いられる。

20.4 追加表記の色は、コースと同一の色とする。

第21条 コントロール位置説明

21.1 コントロールの位置説明は、JOAの『コントロール位置説明仕様』に従って作成する。

21.2 コントロール位置説明表は、地図の表面に貼付されるか、印刷される。

(ロング、ミドル、スプリント)

21.3 コントロール位置説明表は、スタート枠にて配布される。また、事前に配布される位置説明表の大きさを公表するのが望ましい。

21.4(廃止)

(リレー)

21.5 リレーで使用されるすべてのコントロール位置説明の一覧は、リレー前日の代表者ミーティングが始まるまでに参加各校の代表者に配布される。但し、コントロールのつながりについては表示されない。

第22条 現地における表示

22.1 誘導区間は、赤と白の2色のテープにより示される。

22.2 立ち入り禁止区域の外郭が表示される場合、青と黄の2色のテープにより示される。

第23条 コントロールの設置と器具

23.1 すべてのコントロールには、コントロールフラッグが設置される。

23.2 コントロールフラッグは、3つの正方形を三角柱状に結合した形とする。それぞれの面は、およそ30cm×30cmで、対角線によって2分して白とオレンジに色分けする。

23.3 コントロールフラッグは、地図上に示された特徴物の場所に、競技者が特徴物にたどり着いたときに見えるようにして設置される。

23.4 コントロールは、30m以内(縮尺1:5,000または1:4000では25m以内)に近接して設置すべきでない。さらに特徴物が同じコントロールは60m以内(縮尺1:5,000または1:4,000では30m以内)に近接すべきでない。

23.5 コントロールは、その場所に競技者がいるかいかで難易度が変わらないような場所が望ましい。

23.6 すべてのコントロールは、数字によるコントロール識別番号で区別される。コントロール識別番号は白地に黒で書かれ、競技者がはっきり読めるように示される。

23.7 コントロールの器具は、コース上のすべてのコン

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

トロールで同一のものを使用する。十分な数のパンチもしくはユニットをコントロールフラッグのすぐ近くに設置する。

23.8 コントロール役員は競技者を妨げてはならず、タイム・順位・その他の情報を与えてはならない。さらにコントロール役員は、静粛に、目立たない服を着用して、競技者がコントロールに接近するのを手助けしてはならない。これらの規則は、ラジオやテレビコントロール役員、給水コントロール役員、報道関係者にも適用される。但し、演出の都合で情報の提供が行われる場合はイベント・アドバイザーの了承を得て実施することが出来る。

23.9 優勝設定時間が45分を超える競技は、給水所を設ける。給水所には、飲料水が用意される。

第24条 パンチングシステム

24.1 使用するパンチングシステムは、主管者の判断にゆだねられる。

24.2 (廃止)

24.3 (廃止)

24.4 コントロール通過証明がされていない、あるいは判別できない場合、(ユニットの不調など競技者の過失でなくても)この競技者は失格となる。但し、バックアップにより通過が証明された場合は、失格とならない。

24.5 電子パンチを用いる場合には、バックアップシステムを用いなければならない。

第25条 スタート

(ロング、ミドル、スプリント)

25.1 ロング、ミドル、スプリントはプレスタート方式とすることができる。この場合、競技者がスタートへゆっくり走っていった間に合うようにプレスタートを設定する。

(ロング、ミドル、スプリント)

25.2 競技者はスタートと同時に自分で地図を取る。

(リレー)

25.3 リレーでは、第1競技者はスタートと同時に、以降の競技者はスタート後の地図の支給地点で、自分で地図を取る。

25.4 正しい地図を取るのは、競技者の責任である。主管者は、競技者が他の競技者によって妨げられることなく地図を取れるように配慮し、競技者が間違った地図を取らないように充分注意する。

25.5 すべての競技者は、最低20分のウォーミングアップをする時間を取れる。スタート前の競技者とチームオフィシャル以外は、ウォーミングアップエリアに入れない。ウォーミングアップエリアは、スタートの出来る限り近くに設定する。

25.6 オリエンテーリングの開始地点は、地図上で三角のスタート記号で示される。現地にはコントロールフラッグを置く。

25.7 オリエンテーリングの開始地点は、地図面あるいは先行する競技者のルート選択が、スタート前の競技者その他に見えないような場所に設定される。必要に応じて、スタートからオリエンテーリングの開始地点までを誘導区間とすることができる。

25.8 競技者が自己の責によりスタートに遅刻した場合、到着次第すぐにスタートすることができる。この場合、正規のスタート時刻にスタートしたものとして計時される。主管者は、正規にスタートする競技者に影響を与えないように、いつスタートさせるかを決めることが出来る。

25.9 主管者の責により競技者が遅刻した場合、競技者は、新しいスタート時刻を与えられる。

(リレー)

25.10 リレーでは、次競技者は引継を受ける3分以上前に、前競技者が近づいたことを告知される。但し、主管者は告知に問題があっても責任を負わない。

(リレー)

25.11 リレーにおいて、次競技者への引継は、指定された区域(チェンジオーバーエリア)で、両競技者の接触により行う。

(リレー)

25.12 リレーにおいて、運営を円滑に行うために、未出走の競技者をマススタートで出走させることができる(リスタート)。

第26条 フィニッシュ

26.1 計時線は、フィニッシュへの走路に対して直角とする。

26.2 計時線は、競技者が遠くから識別できるようになっていなければならない。

26.3 計時線を通過した競技者は、通過証明が記録されたものをフィニッシュ役員に手渡す。リレーでは、地図とコントロール位置説明表も手渡す。

26.4 フィニッシュ閉鎖時刻は、事前に発表される。

26.5 フィニッシュ地点には、救護所を置く。

第27条 計時と順位

27.1 フィニッシュ時刻は、計時線のところで計られる。その時刻は、競技者の胸が計時線を横切った時刻、あるいは競技者が計時線上でパンチした時刻とする。計時は秒単位まで行う。秒未満については切り捨てる。タイムは、時・分・秒、あるいは、分・秒のどちらかで表示される。

27.2 コントロールを抜かした場合(あるいは、間違ったコントロールをチェックした場合)、また、指定された以外の順番でコントロールを回ったことが判明した場合には、競技者は失格となる。

(ロング、ミドル、スプリント)

27.3 2人以上の競技者が同タイムの場合、これらの競技者は同順位となる。成績表・報告書の中で彼らは同順位

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

となるが、スタート順に並べられる。また、この場合次の順位は空位とする。

(リレー)

27.4 リレーでは、チームの全競技者の合計タイムがそのチームの成績となる。チームの順位は、最終競技者のフィニッシュした順番により決定される。着順判定員が順位判定を下す。同着はない。

27.5 リスタートをしたチームは参考記録とする。

27.6 競技時間は、ロングでは2時間30分まで、ミドルでは1時間40分まで、スプリントでは40分までとする。この時間を超えた競技者は失格とする。リレーでは5時間までとする。

第28条 服装と用具

28.1 主管者が定めない限り、服装の選択は自由である。

28.2 ナンバーカードは、競技中常にはっきり見えるようにして、胸と背中に着用する。ただし、ミドル、スプリントに関しては少なくとも胸に着用すればよい。ナンバーカードの大きさは、25×25 cmを超えないものとする。数字は、最低でも10 cm以上の高さが必要である。

28.3 競技中は、コンパス、時計と、主管者から支給された地図、コントロールカード、コントロール位置説明表のみ使用してよい。その他のオリエンテーリングの技術的な補助器具の使用は禁止する。

第29条 競技上の公正

29.1 インカレに関与するすべての者は、公正と正直を旨に行動しなければならない。スポーツ精神と友情を忘れてはならない。競技者は、他の競技者、役員、報道関係者、観客、トレインや大会区域に居住する人たちを尊重しなければならない。

29.2 主管者は、イベント・アドバイザーの同意を得て、前もって競技を行うトレインの位置を公表するとともに、立入禁止区域を設定することができる。トレインの位置を公表しない場合、すべての役員は、大会区域とトレインを厳重に秘密にしておかななくてはならない。

29.3 選手登録者及びチームオフィシャルは、競技を行うトレインにあらかじめ立ち入ることは禁止される。主管者により発表された事項以上のコースに関する情報を得ようとすることは、禁止される。

29.4 競技中は、以下の行為を禁止する。

- ・外部からの助力を得ること
- ・共同で走り、方向決定を行うこと
- ・故意に他の競技者を追走し、その競技者の能力を利用しようとする
- ・他の者から情報を得ようとする

29.5 競技者は、一度計時線を越えたら、主管者の許可なく競技区域に入ってはいけない。

29.6 棄権した競技者は、フィニッシュを必ず通過しなければならない。また、この者は、決して競技に影響を及ぼしてはならない。

29.7 あらゆる種類の移動手段の利用は、禁止される。

29.8 参加者及び主管者は、競技を妨害してはならない。

29.9 インカレ実施規則を犯したことが判明した競技者は、失格となる。

29.10 主管者は競技の公平性を尊重する立場から、参加者に対し、必要に応じてドーピング検査を実施することができる。なお実施条件を29.11に設ける。

29.11 インカレにおいて主管者が参加者に対しドーピング検査を実施する場合、要項2(4ヶ月前)でドーピング検査実施の可能性を示し、要項3(2週間前)でドーピング検査の有無を決定付けるものとする。

第3章 運営に関する規則

第30条 インカレ実行委員会

30.1 インカレは、インカレ実行委員会が主管する。

30.2 インカレ実行委員会は、当該インカレの1年前までに理事会の承認のもとで組織される。

第31条 秘密保持

31.1 主管者、イベント・アドバイザー及びその補佐、その他トレインやコースを知る者は競技上の公正さを保つための秘密を保持する義務を負う。

第32条 経費

32.1 インカレ運営に関する経費は、主催者が支出する。

32.2 主催者は、参加者から参加費を徴収することができる。

第33条 裁定委員会

33.1 裁定委員会は、異なる出身校の3名で構成される。裁定委員は、理事会が指名し、競技の前日までに全員の氏名が公表される。裁定委員は、大会組織に関与してはならない。

33.2 裁定委員会の審議には、イベント・アドバイザーと主管者の代表は参考人として出席することができる。

33.3 裁定委員会は、大会中に起きた規則あるいはその他の問題に対する提訴に裁定を下す。裁定委員会の審議は、3人全員の出席をもって成立する。任務を遂行できない裁定委員があったときには、理事会は代理を指名しなければならない。

33.4 裁定委員会の判断は最終的なものである。

第34条 イベント・アドバイザー

34.1 イベント・アドバイザーは、日本学連を公式に代表し、主管者に対して派遣される。

34.2 イベント・アドバイザーは、技術委員会の助言のもとに、技術委員会の委員の中から理事会が指名する。指名は、当該インカレの1年前までに行われる。

34.3 イベント・アドバイザーの主な任務は、インカレ実施規則が遵守されていることを確認することである。また、必要のある事項については技術委員会との協議を行

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

う。

34.4 イベント・アドバイザーは、インカレが適正に行われるように、少なくとも以下の任務を遂行する。

- ・要項の内容を確認すること
- ・会場、テレインの適格性を確認すること
- ・スケジュール全体(宿泊、食事、輸送、日程、費用、トレーニングの機会)を確認すること
- ・スタート、フィニッシュ、チェンジオーバーエリアのシステムとレイアウトを確認すること
- ・計時システムの信頼性と正確性を判断すること
- ・地図が規定に合致しているか確認すること
- ・地図の正確さ、作図・印刷の妥当性を確認すること
- ・コースの適格性(距離、競技時間、難易度、コントロール位置と設置状態、偶然性の排除など)を確認すること
- ・リレーにおいては、コースの分割方法と組み合わせが適切かどうか確認すること
- ・コントロール位置説明が適切かどうか確認すること
- ・式典が適切かどうか判断すること
- ・競技への影響の可能性の観点から、報道関係者、観客等に対する処遇を確認すること
- ・運営組織、人事、会計及び競技運営全般を確認すること

34.4 インカレ開催中、イベント・アドバイザーは、大会会場に常駐し、以下の任務を遂行する。

- ・主管者に対して助言を与えること
- ・裁定委員会の提訴に関わる審議を補佐すること

34.5 イベント・アドバイザーは、以上の他に自分の裁量で、インカレの準備と実行に関係ある活動を確認する。

34.6 イベント・アドバイザーは、必要に応じて任務を補佐する者を指名することができる。イベント・アドバイザー補佐は、特に、地図作成、コース、イベント、運営組織、人事、会計、スポンサー、メディア等のうち、イベント・アドバイザーが必要と考える分野において、任務を補う。

34.7 (廃止)

第35条 報告

35.1 主管者は、当該インカレ開催後2週間以内にイベント・アドバイザーに以下のものを送付する。

- ・公式成績
- ・各競技部門のコース図および全コントロール図
- ・その他必要と思われる資料

35.2 イベント・アドバイザーは、当該インカレ開催後3カ月以内に幹事会、理事会及び技術委員会にその活動の報告を送付する。

35.3 主管者は、すべての要項とプログラム、大会報告書を日本学連事務局に送付する。日本学連事務局は、これらを資料として保存する。

第36条 メディア・サービス

36.1 主催者および主管者は、メディア取材者に対して、報道するに好都合な機会を提供することが望ましい。

36.2 主管者は、競技の公平さを損ねない限りにおいて、メディアの報道のために最大限の努力をすることが望ましい。

第37条 改正

37.1 本規則の改正は総会の議決による。

第38条 施行

38.1 本規則は2004年4月1日より施行する。

38.2 本規則は2004年11月8日より改正施行する。

2003年11月15日 制定

2004年11月 6日 改正

2005年11月 7日 改正

2007年 4月 1日 改正

2008年 3月10日 改正

2009年11月22日 改正

2015年 3月 9日 改正

2016年 3月14日 改正

2019年11月 9日 改正

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

歴代入賞者紹介

第1回 1979年3月4日 東京都八王子市

男子

1	小山 格	早稲田 3	1:15:21
2	山岸 倫也	早稲田 2	1:18:17
3	清水 真一	中央 4	1:21:44
4	高尾 昭次	横浜国立 3	1:22:52
5	鈴木 規弘	東京都立 4	1:24:49
6	安藤 尚一	東京 4	1:25:56

女子

1	長田 由紀	学習院女子短期 1	1:21:23
2	井手 裕子	上智 3	1:29:47
3	上野 多佳子	千葉 4	1:31:10
4	出水 久子	青山学院 4	1:35:59
5	飯島 重子	千葉 2	1:36:48
6	江口 理恵子	筑波 2	1:52:18

第2回 1980年3月9日 埼玉県滑川村・嵐山町

男子

1	小山 格	早稲田 4	1:11:45
2	村越 真	東京 1	1:13:39
3	高尾 昭次	横浜国立 4	1:16:59
4	西田 伸一	京都 4	1:22:25
5	山岸 倫也	早稲田 3	1:24:16
6	栗田 健一	横浜国立 4	1:24:43

女子

1	飯島 重子	千葉 3	1:09:55
2	井手 裕子	上智 4	1:09:56
3	田中 和子	都留文科 3	1:12:44
4	長田 由紀	学習院女子短期 2	1:15:24
5	後藤 弥生	愛知 3	1:22:13
6	山岸 美織	大妻女子短期 1	1:22:28

第3回 1981年3月7・8日 茨城県高萩市・十王町

男子

1	村越 真	東京 2	1:19:21
2	山岸 倫也	早稲田 4	1:35:13
3	土屋 定雄	筑波 3	1:36:29
4	池田 博	横浜国立 4	1:43:15
5	今井 将也	上智 4	1:44:09
6	山本 耕史	愛知 4	1:46:20

女子

1	山岸 美織	大妻女子短期 2	1:37:01
2	飯島 重子	千葉 4	1:46:59
3	千村 敦子	横浜国立 2	1:48:25
4	原沢 範子	横浜国立 2	1:52:17
5	田中 和子	都留文科 4	1:56:58
6	広瀬 順子	筑波 4	2:00:07

第4回 1982年3月6・7日 千葉県木更津市

男子

1	村越 真	東京 3	1:27:27
2	桜井 種生	筑波 3	1:40:14
3	斉藤 和助	法政 2	1:41:30
4	土屋 定雄	筑波 4	1:42:34
5	豊島 利男	早稲田 3	1:43:20
6	宮川 達哉	早稲田 1	1:43:26

女子

1	谷津 千恵美	筑波 3	1:09:04
2	中村 敬子	法政 4	1:19:22
3	村田 容子	筑波 3	1:19:33
4	千村 敦子	横浜国立 3	1:22:34
5	高島 康代	東京女子 2	1:27:21
6	高田 智代	静岡 4	1:29:31

第5回 1983年3月5・6日 静岡県富士宮市

男子

1	村越 真	東京 4	1:16:18
2	多田 正純	筑波 4	1:29:45
3	宮川 達哉	早稲田 2	1:33:17
4	松島 寿	東北 3	1:35:31
5	赤塚 宏	京都府立 3	1:38:13
6	藤平 正敏	明治 3	1:38:16

女子

1	佐藤 和恵	千葉 2	1:13:05
2	有村 知江子	筑波 1	1:18:00
3	吉村 積子	多摩美術 2	1:19:44
4	橋本 貴子	東京 2	1:21:10
5	西村 ますみ	慶應義塾 2	1:22:10
6	堤山 真理	山口 3	1:22:17

第6回 1984年3月3・4日 大阪府豊能町・京都府京都市

男子

1	福島 弘幸	東京 4	1:34:26
2	宇佐美 俊哉	東京理科 4	1:47:24
3	斉藤 和助	法政 4	1:49:25
4	宮川 達哉	早稲田 3	1:50:28
5	桜井 剛	横浜国立 2	1:50:37
6	吉田 勉	立教 2	1:50:45

女子

1	角田 明子	東京農工 3	1:35:59
2	新沢 祐子	筑波 3	1:39:14
3	秋山 裕子	図書館情報 3	1:41:02
4	佐藤 和恵	千葉 3	1:52:19
5	鶴岡 千津子	千葉 2	1:57:05
6	有村 知江子	筑波 2	1:58:29

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

第7回 1985年3月15～17日 栃木県日光市・今市市

男子				女子			
1	塙 信弘	東京 4	1:27:54	1	角田 明子	東京農工 4	1:22:18
2	大橋 晴彦	東京 4	1:28:45	2	西村 ますみ	慶應義塾 4	1:25:48
3	斉藤 宏顕	千葉 4	1:28:46	3	新沢 祐子	筑波 4	1:27:08
4	今村 悟	早稲田 3	1:29:11	4	秋山 裕子	図書館情報 4	1:31:54
5	石原 誠一郎	千葉 3	1:30:52	5	鈴木 繁美	千葉 4	1:37:31
6	宮川 達哉	早稲田 4	1:32:06	6	鶴岡 千津子	千葉 3	1:44:38

第8回 1986年3月14～16日 長野県駒ヶ根市・高森町

男子				女子			
1	佐藤 信彦	東京 3	1:24:29	1	有村 知江子	筑波 4	1:01:01
2	稲葉 英雄	名古屋 4	1:31:21	2	吉田 千登勢	お茶の水女子 3	1:09:11
3	石原 誠一郎	千葉 4	1:34:10	3	小林 真由美	筑波 3	1:12:12
4	瀧川 英雄	神戸 3	1:34:10	4	加藤 真紀	千葉 3	1:13:16
5	今村 悟	早稲田 4	1:34:44	5	清水 裕輝子	学習院女子短期 2	1:15:23
6	戸田 淳	東京 3	1:35:06	6	杉村 綾	立教 2	1:16:52

第9回 1987年3月13-15日 愛知県蒲郡市・作手村・下山村・額田町

男子				女子			
1	瀧川 英雄	神戸 4	1:35:16	1	原 和泉	お茶の水女子 4	1:14:05
2	広江 淳良	東京 4	1:40:15	2	稲田 美穂子	筑波 4	1:17:50
3	丸山 哲史	日本体育 1	1:43:07	3	橋本 祐美子	日本女子 4	1:18:05
4	竹内 藤雄	東京農工 4	1:44:36	4	吉田 千登勢	お茶の水女子 4	1:19:40
5	柳沢 貴	千葉 4	1:45:51	5	米田 泰子	お茶の水女子 3	1:24:38
6	泉 通博	東京 4	1:46:30	6	深田 幸子	筑波 3	1:27:05

第10回 1988年3月11～13日 群馬県安中市・松井町・妙義町

男子				女子			
1	香取 伸嘉	千葉 3	1:32:35	1	深田 幸子	筑波 4	0:59:28
2	大嶽 俊秀	東京学芸 4	1:37:25	2	黒田 朱美	お茶の水女子 3	1:01:50
3	伊藤 史朗	東京 4	1:38:35	3	小久保 佐知子	お茶の水女子 3	1:07:02
4	井上 修	早稲田 4	1:39:06	4	嶋田 真弓	千葉 4	1:08:14
5	稲垣 智彦	筑波 4	1:40:17	5	谷口 恭子	津田塾 1	1:09:22
6	丸山 哲史	日本体育 2	1:40:40	6	阿部 今日子	専修 3	1:11:32

第11回 1989年3月10～12日 奈良県奈良市・桜井市・榛原町・都祁村・室生村

男子				女子			
1	井上 健太郎	大阪 4	1:31:33	1	黒田 朱美	お茶の水女子 4	1:20:05
2	伊東 真一	筑波 4	1:34:14	2	阿部 今日子	専修 4	1:21:39
3	前野 直樹	早稲田 4	1:34:32	3	渡辺 乃英	名城 3	1:23:44
4	丸山 哲史	日本体育 3	1:38:23	4	石川 正子	お茶の水女子 3	1:24:35
5	飯塚 靖	慶應義塾 4	1:38:31	5	渡辺 祐子	東京 4	1:25:10
6	羽鳥 和重	早稲田 4	1:39:33	6	田中 拓美	千葉 4	1:26:36

第12回 1990年3月16～18日 埼玉県秩父市・横瀬町

男子				女子			
1	樋口 一志	早稲田 4	1:13:23	1	熊林 あゆみ	筑波 3	1:03:08
2	鹿島田 浩二	東京 1	1:14:15	2	平山 寿美子	静岡 2	1:10:18
3	丸山 哲史	日本体育 4	1:16:03	3	石田 小百合	筑波 2	1:13:04
4	中村 弘太郎	京都 2	1:18:21	4	佐藤 尚子	静岡 2	1:13:53
5	宇野 裕人	横浜国立 3	1:20:14	5	田垣 尚美	日本女子 3	1:13:57
6	菊池 正昭	東北 2	1:22:35	6	濱田 由紀	千葉 2	1:14:49

第13回 1991年3月15～17日 岐阜県中津川市・恵那市・坂下町・福岡町・川上村・長野県南木曽町・山口村

男子			女子				
1	井上 直丈	名古屋 3	1:48:55	1	金子 しのぶ	横浜国立 4	1:02:04
2	中村 弘太郎	京都 3	1:50:07	2	熊林 あゆみ	筑波 4	1:02:36
3	鹿島田 浩二	東京 2	1:50:36	3	岡田 光代	横浜国立 2	1:03:38
4	広瀬 二郎	横浜国立 4	1:52:48	4	福士 淑子	千葉 3	1:04:58
5	利光 良平	駒沢 3	1:57:17	5	田垣 尚美	日本女子 4	1:07:12
6	森 一伸	東京農業 2	2:02:27	6	加納 尚子	京都女子 3	1:07:48

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

第 14 回 1992 年 3 月 13～15 日 栃木県今市市・日光市

男子				女子			
1	鹿島田 浩二	東京 3	1:13:14	1	小西 陽子	筑波 3	1:07:21
2	国沢 五月	一橋 4	1:15:37	2	田島 利佳	武蔵野女子短期 2	1:07:45
3	加賀屋 博文	筑波 4	1:18:13	3	福士 淑子	千葉 4	1:09:03
4	中村 弘太郎	京都 4	1:18:17	4	苗村 恵子	相模女子 3	1:10:46
5	菊池 正昭	東北 4	1:21:39	5	奥村 陽子	相模女子 3	1:11:39
6	井上 直丈	名古屋 4	1:21:56	6	岡田 光代	横浜国立 3	1:13:32

第 15 回 1993 年 3 月 12～14 日 滋賀県大津市・土山町・志賀町

男子				女子			
1	鹿島田 浩二	東京 4	1:18:15	1	奥村 陽子	相模女子 4	1:00:32
2	小長井 信宏	京都 4	1:19:51	2	長岡 理恵	千葉 4	1:01:22
3	入江 崇	東北 2	1:20:49	3	金田 収子	静岡 2	1:03:15
4	小山 博史	東北 4	1:22:21	4	石川 恵美子	東北 3	1:04:51
5	高橋 政明	千葉 4	1:23:32	5	渡辺 初美	日本女子 4	1:05:22
6	塚本 治三	早稲田 4	1:23:08	6	中野 宏美	静岡 2	1:05:35

第 16 回 1994 年 3 月 11～13 日 群馬県渋川市・伊香保町・東村

男子				女子			
1	入江 崇	東北 3	1:19:40	1	金並 由香	早稲田 4	1:03:41
2	桜井 太郎	東京 4	1:29:14	2	酒井 佳子	北海道 4	1:10:30
3	安斎 秀樹	東北 4	1:29:19	3	金田 収子	静岡 3	1:11:13
4	松澤 俊行	東北 3	1:30:14	4	志村 聡子	早稲田 3	1:12:47
5	鈴木 卓弥	東京 4	1:31:34	5	稲村 仁美	広島 3	1:12:48
6	白神 謙吾	京都 4	1:32:27	6	植田 佳子	広島 3	1:13:11

第 17 回 1995 年 3 月 10～12 日 静岡県富士市・富士宮市・裾野市

男子				女子			
1	入江 崇	東北 4	1:22:29	1	金田 収子	静岡 4	0:59:14
2	松澤 俊行	東北 4	1:24:38	2	山口 純子	名古屋 3	1:01:49
3	藤城 公久	筑波 3	1:26:43	3	志村 聡子	早稲田 4	1:04:31
4	内田 恵司	北海道 4	1:28:01	4	三宅 朋美	津田塾 4	1:04:36
5	小林 哲	静岡 4	1:29:24	5	小山 由美子	筑波 3	1:06:12
6	野田 昇作	北海道 3	1:30:07	6	林 ゆかり	筑波 3	1:06:22

第 18 回 1996 年 3 月 8～10 日 栃木県今市市・日光市

男子				女子			
1	藤城 公久	筑波 4	1:17:50	1	中村 正子	筑波 3	1:02:59
2	山口 大助	千葉 2	1:19:14	2	小山 由美子	筑波 4	1:03:39
3	柿並 義宏	東北 4	1:20:17	3	小林 るみ子	新潟 3	1:07:04
4	野田 健史	東北 4	1:20:47	4	山本 康世	国際基督教 4	1:07:36
5	大西 淳一	東京 4	1:20:55	5	原 志保子	静岡 4	1:08:40
6	世古口 裕史	東京工業 3	1:22:30	6	片岡 由起子	筑波 4	1:08:50

第 19 回 1997 年 3 月 7～9 日 奈良県奈良市・桜井市・榛原町・都祁村

男子				女子			
1	太田 晃弘	東京 4	1:21:13	1	中村 正子	筑波 4	1:04:01
2	寺内 亮太	東北 4	1:21:31	2	小林 るみ子	新潟 4	1:08:02
3	白土 英治	東北 3	1:22:38	3	堀出 知里	筑波 3	1:13:16
4	美濃部 篤	筑波 3	1:22:39	4	丹羽 美智子	東北 3	1:17:14
5	出島 秀一	東北 4	1:23:28	5	池田 祐子	北海道 4	1:17:38
6	羽柴 公貴	早稲田 4	1:25:37	6	堀井 亜紀	筑波 3	1:18:11

第 20 回 1998 年 3 月 6～8 日 茨城県高萩市・里美村

男子				女子			
1	佐藤 時則	東北 4	1:23:18	1	金子 恵美	東京女子 4	1:09:29
2	石井 泰朗	東北 3	1:23:25	2	渡辺 円香	筑波 4	1:13:53
3	土屋 周史	京都 4	1:23:46	3	佐々木 峰子	筑波 4	1:14:08
4	近藤 貴文	東京 4	1:25:26	4	大谷 由樹	筑波 3	1:16:19
5	小暮 喜代志	筑波 4	1:30:01	5	堀井 亜紀	筑波 4	1:16:43
6	斉藤 創一	筑波 4	1:31:01	6	河野 みどり	北海道 4	1:17:53

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

第 21 回 1999 年 3 月 12～14 日 山口県山口市・秋芳町・美東町

男子				女子			
1	石井 泰朗	東北 4	1:13:04	1	大谷 由樹	筑波 4	1:08:08
2	村上 健介	筑波 4	1:13:11	2	安井 千晶	京都橘女子 4	1:08:24
3	小野田 雄介	東北 3	1:18:34	3	佐藤 渚	京都橘女子 4	1:09:35
4	内山 裕史	東京 3	1:19:06	4	塩田 美佐	筑波 2	1:12:38
5	水嶋 孝久	静岡 4	1:20:20	5	小林 啓恵	東北 2	1:13:22
6	篠原 岳夫	筑波 3	1:20:58	6	上松 佐知子	筑波 2	1:13:59

第 22 回 2000 年 3 月 10～12 日 栃木県今市市・日光市

男子				女子			
1	高橋 善徳	筑波 4	1:29:08	1	小林 啓恵	東北 3	1:08:34
2	篠原 岳夫	筑波 4	1:30:51	2	上松 佐知子	筑波 3	1:11:50
3	小野田 雄介	東北 4	1:31:23	3	塩田 美佐	筑波 3	1:15:50
4	安井 真人	早稲田 3	1:33:06	4	番場 洋子	京都 2	1:16:29
5	内山 裕史	東京 4	1:33:11	5	近藤 寛子	国際基督教 4	1:25:06
6	紺野 俊介	早稲田 3	1:33:22	6	深沢 博子	東京農工 4	1:26:33

第 23 回 2001 年 3 月 9～11 日 愛知県作手村・新城市

男子				女子			
1	安井 真人	早稲田 4	1:10:55	1	番場 洋子	京都 3	0:57:01
2	金澤 拓哉	東北 3	1:11:05	2	小林 啓恵	東北 4	1:00:56
3	紺野 俊介	早稲田 4	1:11:17	3	横江 君香	京都橘女子 4	1:02:20
4	許田 重治	京都 3	1:16:44	4	上松 佐知子	筑波 4	1:03:38
5	加藤 弘之	東京 3	1:16:44	5	塩田 美佐	筑波 4	1:04:25
6	猪飼 雅	金沢 4	1:19:53	6	池田 和香子	東北 4	1:05:13

第 24 回 2002 年 3 月 8～10 日 栃木県矢板市・塩谷町

男子				女子			
1	小泉 成行	筑波 4	1:11:34	1	番場 洋子	京都 4	1:05:24
2	許田 重治	京都 4	1:14:06	2	宮内 佐季子	京都 1	1:05:37
3	金澤 拓哉	東北 4	1:14:16	3	石川 裕理	京都 3	1:13:16
4	大嶋 真謙	北海道 4	1:14:35	4	大塚 泰恵	金沢 2	1:17:42
5	青木 博人	東京 2	1:16:30	5	山本 真美	東京女子 4	1:23:20
6	佐々木 良宣	筑波 3	1:18:16	6	高橋 ひろみ	慶應義塾 4	1:24:10

第 25 回 2003 年 3 月 7～9 日 愛知県東加茂郡下山村

男子				女子			
1	禅洲 拓	東北 4	1:24:47	1	宮内 佐季子	京都 2	1:09:56
2	西尾 信寛	京都 4	1:25:51	2	石川 裕理	京都 4	1:11:25
3	吉田 武生	京都 3	1:25:55	3	黒河 幸子	筑波 4	1:16:38
4	小熊 武彦	東京 3	1:28:49	4	姫野 祐子	東北 3	1:20:24
5	浜田 尚	東北 2	1:29:19	5	田島 聖子	東京女子 4	1:20:27
6	李 敬史	静岡 3	1:29:22	6	花木 睦子	千葉 2	1:27:53

第 26 回 2004 年 3 月 12～14 日 三重県名張市・名賀郡青山町

男子				女子			
1	寺垣内 航	早稲田 4	1:06:16	1	姫野 祐子	東北 4	0:58:51
2	久野 雄介	東京 4	1:08:24	2	高野 麻記子	筑波 4	1:00:54
3	櫻本 信一郎	東北 4	1:09:35	3	浅井 千穂	京都 4	1:00:57
4	新宅 有太	京都 4	1:10:56	4	皆川 美紀子	東京農工 4	1:02:51
5	吉田 武生	京都 4	1:11:06	5	桑野 文	京都橘女子 3	1:07:13
6	山下 智之	東京農工 3	1:11:13	6	若木 まりも	京都 4	1:08:45

第 27 回 2004 年 11 月 7 日 愛知県東加茂郡下山村・額田郡額田町

男子				女子			
1	坂本 貴史	筑波 4	1:22:57	1	原 直子	東京女子 3	1:05:43
2	高橋 雄哉	図書館情報 3	1:23:07	2	朴峠 周子	日本女子 3	1:13:54
3	前田 裕太	東京工業 4	1:24:41	3	峯村 綾香	奈良女子 3	1:16:06
4	後藤 大輔	東北 3	1:26:13	4	志度 裕子	東京農工 3	1:19:33
5	小野田 剛太	京都 4	1:27:04	5	桑野 文	京都橘女子 4	1:20:30
6	山下 智之	東京農工 4	1:27:10	6	塚八 ゆかり	京都橘女子 4	1:21:16

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

第 28 回 2005 年 11 月 6 日 愛知県新城市

男子

1	高橋 雄哉	図書館情報 4	1:19:52
2	後藤 大輔	東北 4	1:23:10
3	大西 康平	京都 3	1:23:49
4	山崎 貴彦	東京 3	1:25:16
5	小林 隆昭	千葉 4	1:25:34
6	永井 亮	東北 3	1:26:07

第 29 回 2006 年 9 月 17 日 長野県駒ヶ根市

男子

1	茂木 堯彦	東京 3	1:22:14
2	大西 康平	京都 4	1:24:17
3	西村 徳真	京都 3	1:25:18
4	藤沼 崇	新潟 4	1:27:18
5	津國 真敏	京都 4	1:27:43
6	杉山 尚徳	東北 3	1:28:59

第 30 回 2007 年 11 月 11 日 栃木県日光市

男子

1	日下 雅広	東北 3	1:25:06
2	西村 徳真	京都 4	1:25:30
3	茂木 堯彦	東京 4	1:26:51
4	長縄 知晃	東北 4	1:27:04
5	小山 温史	東京工業 4	1:27:18
6	林 泰斗	東北 4	1:28:15

第 31 回 2008 年 11 月 2 日 愛知県新城市

男子

1	日下 雅広	東北 4	1:15:07
2	崎田 孝文	名古屋 4	1:15:36
3	林 城仁	東京 4	1:18:32
4	太田 貴大	東北 4	1:21:00
5	久米 航	東北 4	1:22:45
6	片岡 裕太郎	名古屋 3	1:24:17

第 32 回 2009 年 11 月 22 日 栃木県矢板市

男子

1	小林 遼	東京 3	1:19:12
2	岡本 将志	早稲田 3	1:22:04
3	林 真一	名古屋 4	1:22:19
4	片岡 裕太郎	名古屋 4	1:23:00
5	谷川 友太	名古屋 4	1:23:10
6	神谷 泰介	筑波 4	1:24:23

第 33 回 2010 年 11 月 21 日 奈良県宇陀市・桜井市

男子

競技不成立

女子

1	原 直子	東京女子 4	1:05:00
2	朴峠 周子	日本女子 4	1:05:57
3	築山 絢	早稲田 4	1:07:00
4	森澤 寿理	奈良女子 4	1:07:20
5	志度 裕子	東京農工 4	1:08:43
6	橋本 陽子	日本女子 4	1:10:57

女子

1	米谷 法子	東京農工 4	1:04:13
2	中島 亜香音	静岡 4	1:08:12
3	幸村 和美	岩手 4	1:12:25
4	井手 恵理子	日本女子 3	1:12:28
5	臼倉 由紀	岩手 3	1:15:16
6	阿部 ゆかり	東北 2	1:17:15

女子

1	関谷 麻里絵	京都 3	1:02:46
2	千葉 妙	筑波 4	1:12:06
3	稲葉 茜	筑波 4	1:14:14
4	井手 恵理子	日本女子 4	1:14:33
5	笠原 綾	日本女子 4	1:14:47
6	松永 真澄	日本女子 3	1:17:13

女子

1	関谷 麻里絵	京都 4	1:05:25
2	阿部 ゆかり	東北 4	1:07:53
3	松永 真澄	日本女子 4	1:09:42
4	永田 有佳里	相模女子 3	1:15:16
5	柴田 彩名	椋山女学園 2	1:18:08
6	後藤 未妃	宮城学院女子 3	1:19:35

女子

1	高野 美春	十文字学園女子 3	1:01:53
2	山本 紗穂里	筑波 3	1:08:06
3	田村 蓉子	東京工業 2	1:08:16
4	星野 智子	津田塾 2	1:08:25
5	柴田 彩名	椋山女学園 3	1:08:55
6	新井 宏美	新潟 3	1:09:14

第 33 回再競技 2011 年 2 月 5 日 栃木県日光市

男子

1	小林 遼	東京 4	1:15:23
2	結城 克哉	東京 2	1:15:35
3	山上 大智	東京 4	1:15:40
4	松井 健哉	名古屋 4	1:21:09
5	三谷 洋介	東京 2	1:23:09
6	矢野 貴裕	東京 4	1:23:32

女子

1	高野 美春	十文字学園女子 4	1:14:33
2	新井 宏美	新潟 4	1:15:24
3	水野 日香里	椋山女学園 4	1:18:17
4	佐野 まどか	東北 3	1:18:17
5	柴田 彩名	椋山女学園 4	1:22:18
6	田代 祐香里	日本女子 4	1:22:47

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

第 34 回 2011 年 11 月 6 日 長野県松本市

男子

1	結城 克哉	東京 3	1:30:21
2	立川 悠平	新潟 4	1:33:52
3	関 淳	東北 2	1:35:31
4	野本 圭介	筑波 1	1:38:03
5	田邊 拓也	東北 4	1:38:41
6	中村 憲	東北 3	1:38:49

女子

1	高橋 美誉	岩手 2	1:07:24
2	芦澤 咲子	相模女子 3	1:10:48
3	沢田 慧	東北 2	1:12:41
4	畠山 真紀	岩手 3	1:15:37
5	大河内 恵美	横浜市立 2	1:16:25
6	堀口 奈保	東北 2	1:16:50

第 35 回 2012 年 12 月 2 日 静岡県富士市

男子

1	結城 克哉	東京 4	1:01:05
2	真保 陽一	東京 3	1:01:06
3	尾崎 弘和	早稲田 2	1:01:14
4	福井 直樹	大阪 3	1:05:32
5	宮西 優太郎	東北 1	1:06:32
6	堀江 悟	名古屋 3	1:06:46

女子

1	稲毛 日菜子	お茶の水女子 2	0:48:33
2	宮川 早穂	立教 1	0:53:24
3	田中 千晶	お茶の水女子 3	0:57:23
4	芦澤 咲子	相模女子 4	1:00:04
5	大河内 恵美	横浜市立 3	1:01:38
6	高橋 美誉	岩手 3	1:02:31

第 36 回 2013 年 10 月 13 日 静岡県富士市

男子

1	尾崎 弘和	早稲田 3	1:18:17
2	菅野 敬雅	東北 4	1:22:06
3	真保 陽一	東京 4	1:22:52
4	杉村 俊輔	東北 3	1:24:26
5	深田 恒	東京 2	1:24:37
6	福井 悠太	東京 2	1:25:15

女子

1	稲毛 日菜子	お茶の水女子 3	0:58:37
2	高橋 美誉	岩手 4	1:07:39
3	大河内 恵美	横浜市立 4	1:17:26
4	横山 理恵	金沢 4	1:18:03
5	伊東 瑠実子	東京 2	1:19:40
6	守屋 舞香	椙山女学園 2	1:25:03

第 37 回 2014 年 10 月 12 日 福井県あわら市

男子

1	松下 睦生	京都 4	1:16:24
2	糸賀 翔大	東京 4	1:20:48
3	深田 恒	東京 3	1:22:03
4	福井 悠太	東京 3	1:23:29
5	尾崎 弘和	早稲田 4	1:25:26
6	嶋岡 雅浩	名古屋 4	1:25:53

女子

1	稲毛 日菜子	お茶の水女子 4	1:01:55
2	宮川 早穂	立教 3	1:08:13
3	伊東 瑠実子	東京 3	1:18:24
4	五味 あずさ	金沢 3	1:28:58
5	増田 七彩	東京 2	1:34:51
6	宮田 優花	筑波 3	1:35:26

第 38 回 2015 年 10 月 4 日 長野県諏訪郡富士見町

男子

1	稲森 剛	横浜国立 1	1:11:48
2	宮西 優太郎	東北 4	1:12:04
3	久保田 皓貴	慶應義塾 2	1:12:33
4	田中 基士	横浜市立 4	1:12:35
5	五百倉 大輔	京都 4	1:13:11
6	滝川 真弘	東北 3	1:13:26

女子

1	五味あずさ	金沢 4	0:55:57
2	守屋舞香	椙山女学園 4	0:57:17
3	伊東瑠実子	東京 4	1:00:06
4	宮川早穂	立教 4	1:00:11
5	松田沙也加	岩手 4	1:00:18
6	山岸夏希	筑波 1	1:02:21

第 39 回 2016 年 11 月 20 日 栃木県矢板市・塩谷町

男子

1	稲森 剛	横浜国立 2	1:19:08
2	猪俣 祐貴	東京 4	1:19:14
3	橋本 正毅	東北 4	1:26:05
4	伊藤 樹	横浜国立 2	1:26:25
5	井倉 幹大	東京 4	1:27:11
5	橘 孝祐	横浜国立 4	1:27:11

女子

1	勝山 佳恵	茨城 2	1:07:45
2	山岸 夏希	筑波 2	1:08:50
3	田中 圭	武蔵野 4	1:09:08
4	香取 菜穂	千葉 2	1:09:17
5	中村 菜菜	早稲田 4	1:11:58
6	伊佐野 はる香	東北 2	1:12:16

第 40 回 2017 年 11 月 12 日 岐阜県不破郡関ケ原町

男子

1	松尾 怜治	東京 4	1:09:49
2	佐藤 俊太郎	東北 4	1:11:29
3	稲森 剛	横浜国立 3	1:12:38
4	種市 雅也	東京 2	1:13:27
5	宮本 樹	東京 3	1:15:23
6	桑 潤哉	東京 4	1:16:19

女子

1	勝山 佳恵	茨城 3	0:56:22
2	増澤 すず	筑波 2	0:58:37
3	白井 沙耶香	東北 3	1:01:24
4	宮本 和奏	筑波 1	1:02:07
5	長崎 早也香	名古屋 4	1:05:38
6	出田 涼子	大阪 2	1:07:23

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

第 41 回 2018 年 9 月 16 日 長野県駒ヶ根市

男子

1	柴沼 健	早稲田 4	1:17:39
2	種市 雅也	東京 3	1:17:49
3	大橋 陽樹	東京 3	1:22:48
4	濱宇津 佑亮	東京 4	1:22:57
5	佐藤 遼平	東京 4	1:23:18
6	稲森 剛	横浜国立 4	1:25:09

第 42 回 2019 年 11 月 10 日 岐阜県中津川市

男子

1	大橋 陽樹	東京 4	1:04:40
2	小牧 弘季	筑波 3	1:04:52
3	種市 雅也	東京 4	1:09:02
4	北見 匠	東北 4	1:09:46
5	椎名 晃丈	東京 3	1:14:53
6	岩井 龍之介	京都 4	1:14:57

女子

1	増澤 すず	筑波 3	0:58:32
2	勝山 佳恵	茨城 4	1:00:54
3	伊部 琴美	名古屋 2	1:01:08
4	香取 菜穂	千葉 4	1:02:14
5	伊佐野 はる香	東北 4	1:03:47
6	香取 瑞穂	立教 2	1:04:08

女子

1	宮本 和奏	筑波 3	1:13:19
2	伊部 琴美	名古屋 3	1:13:28
3	小林 祐子	東北 3	1:13:58
4	香取 瑞穂	立教 3	1:13:59
5	増澤 すず	筑波 4	1:14:32
6	世良 史佳	立教 3	1:15:44

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

ロング
詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

国内旅行は・・・

赤い風(船)

海外旅行は・・・

VI
MACH
マッハ

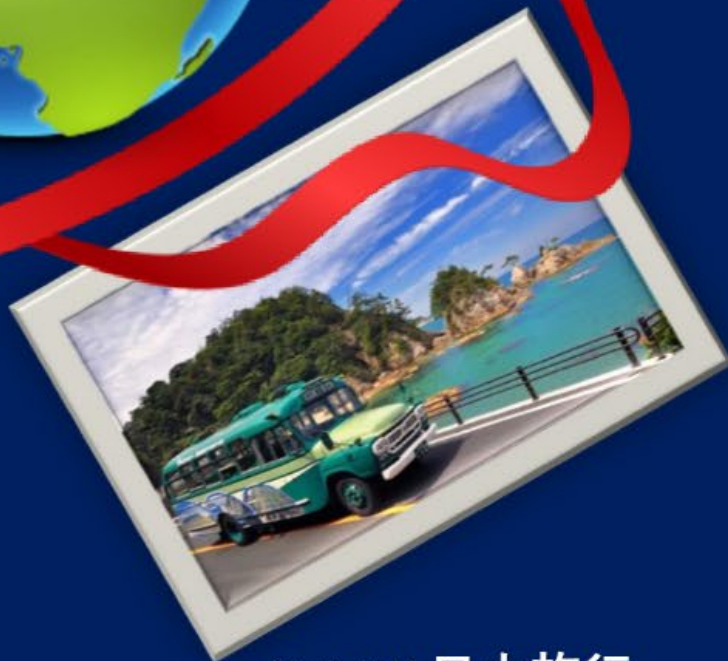
B
Best
ベスト

Bex
Best
Excellent
ベストエクセレント



日本旅行イメージキャラクター
たぴーら

“一枚の切符”から・・・
真心こめたお手伝い！



合宿・遠征のご相談大歓迎！

インカレを引き継げる方の入社も
お待ちしております♪

株式会社日本旅行
長野支店

〒380-0821 長野県長野市上千歳町
1137-23

長野1137ビル

TEL：026-233-3141 FAX：026-232-4526

担当：小林 博文

hirofumi_kobayashi@nta.co.jp

課題解決 + フォルテ



[位置情報]と[骨伝導]で、より豊かな生活へ。

フォルテGPS (FB) で「位置」の解決



山車



除雪車



配達員

フォルテ骨伝導 (VOCE-rable) で「音」の解決



スポーツ



製造工場



難聴対策

フォルテアプリでスマホがもっと便利に



ガイドアプリ



翻訳アプリ

事例集・パンフレット、
お見積のお問合せは
こちらまで！



株式会社フォルテ 東京支店

担当: 相馬 (info@forte-inc.jp)

HP: <http://www.forte-inc.jp/>

SNS: <https://www.facebook.com/aomori0forte/>



つめたいから、 あたたかくなれる。

できたてのアツアツを凍結させたり。
食材を冷凍して長持ちさせたり。
氷が大好きなペンギンくんたちも
ビックリの凍らす力で、おいしさを生みだす。
それがニチレイの「冷力（れいりょく）」です。
ニチレイは、この「冷力」をつかって、
さまざまな事業を展開しています。
新しいアイデアで生みだした健康的なおいしさを、
日本最大の低温物流ネットワークで、今日もあなたの食卓へ。
これからもニチレイはおいしさを、
みんなのあたたかい笑顔につなげていきます。

<http://www.nichirei.co.jp/>



おいしい瞬間を
届けたい



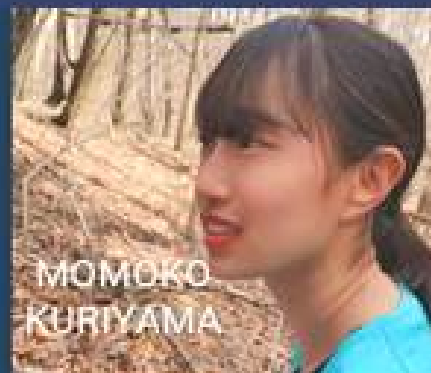
KYOSUKE
SUZUKI



CHIKA
MATSUDA

特別なことは意識せず、いつも通りで！！ 3期 松尾
深呼吸忘れないでね～～～ 5期 早入
いつも通りがんばれ！ 5期 土田
全力で楽しんで！ 6期 角田
DO YOUR BEST

YOKOHAMA CITY UNIVERSITY



MOMOKO
KURIYAMA



RYOTARO
ABE

確実走りができればきっといい結果に繋がります。
慌てず、楽しんで！ 7期 高橋

レースできる喜びを噛みしめて！頑張れよこいち！7期 平松
とにかく楽しんで走ってください！応援してます！8期 藤崎
楽しんだもの勝ち！リラックスしてがんばって！8期 古谷

大舞台を全力でエンジョイしてください。
陰ながら応援してます！ 8期 松嶋

空気に飲まれるなー！ 8期 藤原

待ちに待ったインカレです。
楽しんでください。
最高の結果が待っています。 15期 小泉

自信を持って行ってらっしゃい！
46期 角田

今しかない恵まれた機会を、
全力で楽しもう。 48期 清水

皆の走りが、
仲間の力になるはず。
思い切りぶつかろう！
47期 濱野

これまでの練習の成果を発揮し、
悔いのないインカレになりますように。
がんばれ！慶應義塾 17期 清水

あきらめずに最後まで！
みんなで最高の日にしてください。
42期 富家

オンラインで応援します！
悔いの残らぬよう全力で楽しんで！
40期 小室

逆境をバネに KOLC が発展するのを
目にしたい。頑張ろう。 47期 上島

頑張れ KOLC



インカレはみんなが主役です。
楽しんでください！ 48期 野村

悔いなきレースを。
みんなが待ってる！！
47期 平松

君達は、強い！

最大の敵になるも最大の味方になるも自分自身。
自分の一番の味方になろう。 47期 村田

努力は絶対に裏切らない。
自分を信じて！ベストを尽くせ！！
48期 桃井

チャンスは何度もあるわけではない。
会心のレースになることを願っています。
48期 戸澤

インカレは、選手権も一般も、君たち一人一人のための特別な舞台です。
悔いの残らないよう全力で楽しんで下さい。 48期 茂原

醒めて起て、筑波大学

やれることをやっていきましょう
(1994 社会学 松田貴彦)

一瞬一瞬を楽しんで！目標達成に向けて頑張れ！！

(2016 工学システム 佐野響)

集中 (2016 比較文化 増澤すず)

皆さんの実力を持ってすれば優勝も夢ではないはず。全力を尽くして、栄冠を手にしてください！ファイト！！

(2012 地球 栗原佑典)

がんばれ筑波。全力で応援して走った記憶は卒業後23年経っても鮮明に覚えています。練習の成果を思う存分発揮して激走してください。

(1993 自然 盛田彰宏)

森を駆けろ！

(2011 工学システム 後藤孔要)

コロナ禍での試合開催に感謝の気持ちを忘れず、自分の積み重ねた努力を、レースで形にしてください。

(2003 自然 伊東)

選手の皆さんのご活躍を心よりお祈りします。

(1981 生物 山崎芳仁)

この舞台はたった一度きり。のびのびと、後悔のないよう走りきってください！

(2012 心理 古本優花)

応援しています

(2015 人文 大野亘毅)

焦らず、急いで、正確に。

(2016 応用理工 高本章寛)

今、君がこのスタートに立てることに何人が尽力してくれただろうか。その恩返しは君のベストを存分に発揮することだ。(1982 生物 宮本知江子)

悔いの残らないようにベストを尽くしてください！陰ながら応援しています。(1982 農林 西松伸一郎)

レースを全力で楽しもう。醒めて起て！(2011 社会学 野本圭介)

今年開催できたことを噛みしめつつ、しかしだからこそ純粋に自分たちのために走ってください。見に行けなくても応援しています。

(2016 比較文化 鳩力乃介)

エリートのみなさんおめでとうございます。貴重なインカレをぜひ楽しんでください。

(2016 社会学 鈴木大喜)

限界を超えて走り抜け！

(2016 社会学 横山司)

昨年の岐阜を思い返して集中力を高めて、粘り強くいつも通りのオリエンテーリングを！！

(1984 基礎工学 武藤拓王)

いま、この一瞬の全てが、今後の人生の糧になります。地図と自分だけの静かな世界を、全力で駆け抜けてください！

(2013 地球 田中基成)

無事開催され、筑波旋風を矢板で巻き起こることに期待してます。

(2009 生物資源 片桐拓登)

事前の準備はしっかりと。そして、思う存分走り回ってください。

(2012 応用理工 那須佳祐)

全力で楽しんでください！

(2009 体育/社会 柳川梓)

大変な状況の中、開催に向けて尽力された方々に敬意を。インカレを走れる機会は8回しかありません。全力で満喫してください。

(2006 比較文化 常住紗織)

明日へ、駆けよ

(1986 社会学 竹下俊輔)

大変な情勢の中、工夫しながら部活を続けてくれたことへの誇り、そしてインカレという場を守るために尽力して下さった方々への感謝を忘れずに、存分に楽しんできてください！

(2014 応用理工 小森太郎)

最後まで諦めず走り抜いてください

(2012 国際総合 松崎崇志)

何があってもオリエンテーリングの楽しさは変わらない。やるべきことも変わらない。最後まで全力で駆け抜けてください。(1998 自然 小泉成行)

最後まで全力で走り抜け！！

(2015 応用理工 仁野平 拓)

前だけを見ること。結果は必ずついて来る。(2016 生物資源 小竹佳穂)

普段やらないことはしない。普段できてることを全力で！

(2015 地球 楠健志)

筑波大学オリエンテーリング部OB・OG会 桐嶺会 一同



東京OLクラブは学生の皆さんの活躍を応援しています。

東京OLクラブに入ませんか

特典がいっぱい

年会費 一般：3000円（初年度は無料）

学生（大学院生含む）：無料

クラブOLウェア、Tシャツを進呈します

希望者にはEカードを無償で貸与します

東京OLクラブチームで指定リレー大会への

参加費は無料(クラブが負担)

学生（大学院生含む）は東京OLクラブ名で

指定大会へ参加した参加費の一部を補助します



クラブ7人リレー(2019年ベテランカップ3位)

東京OLクラブは東京都OL協会に加盟している地域クラブです。クラブ員は19名。年齢層は40歳代から80歳代までと、皆、経験豊かでオリエンテーリングを生涯スポーツとして続けています。またロゲイニングで活躍しているメンバーもいます。

クラブの年間行事

ベテランズ大会の運営

サマー合宿

東京OLクラブ杯の実施

目的を持った練習会

クラブ7人リレー、

クラブ対抗リレーへの参加

大会の運営、練習会の開催、リレーの参加、大会試走、地図調査等活躍の場面はたくさんあります。

若い人の力を求めています。

地域クラブに入って、幅広い年齢層の人と楽しくクラブ活動をやってみませんか。

お待ちしております。

連絡先 天明英之（会長） hideten@s00.itscom.net

ホームページ <http://tokyo-olclub.blogspot.jp/>



二年
猪股 紗如

©2019 Oriphoto



四年
宮嶋 哲矢

頑張れ！千葉大！

鳩の会は
千葉大OLCを
応援しています



さあ決戦だ!コロナに負けずに積み上げてきた自分の努力と、支えてくれた人達の思いを形にするとき!

4 期 大橋晴彦

この状況下で開催するのは大変なものがあると思います。運営者の思いに応えるには競技に全力を尽くすのみ。

8 期 新田見俊宣

今もてる力を最大限に発揮できますように!最高に楽しんで来てください。応援しています。頑張れ、OLK!頑張れ、十文字!

30 期 長縄美春

インカレは一生の思い出になります。楽しんでください。

32 期 結城克哉

自分を信じ、最後まで全力を尽くしてください。その先にか見えない景色がきっとあるはずです。

32 期 堀田遼

インカレが開催される喜びを胸に、これまでの鬱憤を晴らすような走りを期待しています。

33 期 石野夏幹

今までやってきたことをいつも通りに、この舞台を楽しんで、最後まで全力で!

37 期 松尾怜治

神は乗り越えられない試練は与えない、そう信じて駆け抜けよう。乗り越えた先に望む結果が待っているはず。

37 期 増田健也

どんなインカレでも OLK 祭りにしてしまえ!!!

37 期 加藤岬

コロナ禍でなかなか思うように練習できなかったと思いますが、4 年間で 8 回あるうちの 1 回のこのインカレを思いっきり楽しんで!!!こんな中でも一緒に頑張ることができる仲間がいることを忘れずに、最後の最後まで走り抜けて!!!応援してます!

38 期 村山友梨

まだ強くなれる。今よりもっと!絶対できる!

38 期 新田見優輝

enjoy orienteering!!

38 期 三上拓真

どんなに不安でもどんなにミスをしてしまっても、ゴールする最後の最後まで諦めず全力で走りきってください。みんなの活躍を祈ってます!OLK ファイト!!!

38 期 木村るび子

どんな自分に対しても、スタート枠でポジティブになれるよう祈っています。

38 期 岡本洸彰

心の中では仲間や OBOG 達が応援していることを覚えていてください。そして、静かな森との緊張した対話を楽しんでください。今年のインカレも忘れられないオリエンテーリングになるはずです。

39 期 石田晴輝

一年ぶりのインカレ、一年分の想いを全てぶつけて全力を出し切ってこい!その先に笑顔が待っているから。

39 期 比企野純一

最後まで粘り強く、自分を信じて頑張ってください!悔いのないレースを。

39 期 種市雅也



頑張れ、 東大OLK

杏友会一同

コロナ禍にあっても用意されたこの貴重な舞台を
目一杯楽しんできてください。OLK ファイト!

39 期 飯田泰史

いつまで経っても落ち着かない世の中になってしまいましたが、インカレでは落ち着いてレースに臨んでください!みなさんにとって充実の 1 日となりますように☆

33 期 福吉桜子

再集結の時ですね。全身全霊でインカレを味わい尽くしてください!

34 期 稲毛日菜子

ただ、自分のレースをまっすぐに。がんばれ!

35 期 宮川早穂

先輩から渡された言葉をつなぎます。「自分が不幸だと思っ
てはいけないよ」

35 期 伊東瑠実子

いつもと勝手が違う中、起こりうることの想定は前日まで
に済ませて

当日は思いっきり楽しんでください!

まいな一、立教、もんじ、OLK

せらふみ、みずほ、ももなちゃん、頑張れ〜!!

36 期 糸賀彩夏

コロナ禍で難しい状況ですが、できる限りの準備をして臨
んでください。会場で、一人でも多くの人の笑顔が見れる
のを楽しみにしています。

36 期 桑原大樹

精一杯楽しんでください。

37 期 大東祐汰

自分にとって大事なことを大切に、楽しもう。思いを望もう。

37 期 瀬川出

そこにあるのは森と自分、使うのは地図とコンパス。
それ以外のことは全て忘れて、集中してやってください
い!

38 期 村井智也

今できることを全力で!後悔することのないようしっかりと
準備して本番を楽しんでください。

38 期 出原優一

そのメンバーその瞬間で迎える 1 度きりのインカレを、思い
切り楽しもう。

38 期 横堀聖人

今年は苦しいことも多かったと思います。その中で何を糧
に、何の為に走るかはそれぞれだと思います。
ただ、東大 OLK のインカレロングの物語は、現役生みなで
紡いでいって欲しいです。
心から応援しています。

38 期 濱宇津佑亮

だれもが主役になる日が 1 年ぶりに、やっと帰ってきたんだ
よ。君の走りがみんなを熱くさせる、この機会を手放すな!

38 期 佐藤遼平

みんな大変な時期だと思いますが、この機会を存分に楽し
み尽くしてください!

38 期 西田成佑

この状況の中、心折れずに頑張ってきた現役生みんな
を誇りに思います。
今まで蓄えてきた力を出し切れるように、自分と仲間を信
じて頑張れ!心から応援しています。

38 期 中島緑里

納得のいくレースができますように!インカレが開催される
ということに感謝して存分に楽しんで来てね!

39 期 小林美咲

練習機会が少ないのは他クラブも一緒。強い心意気でも
ってライバルを圧倒し、最大限の実力を発揮しましょう。そ
れでは皆様のご無事を祈っています,Fight!

39 期 後藤幸大

待ちに待ったインカレを全力で駆け抜け、全力で楽しんで
ください!応援しています(^-^)
マイナー生!活躍を祈っています♪ ふあい!

39 期 塚田恵理

持てるもの全てを出し切って!

39 期 佐藤公洋

楽しんでください!ケガに気をつけて、体調崩さないよ
うに!いってらっしゃい

39 期 鹿野梨佳子

最後の最後まで力を振り絞ってきてください。
みんなの頑張りを楽しみにしています。

39 期 大橋陽樹

自由であれ。

39 期 後藤和樹

トレインの様子、ライバルたち、自分の状況。全てが同じイ
ンカレは一度しか来ない。
どうせなら後悔のないよう楽しみましょう。最後まで全力で
走る皆さんを応援しています!

39 期 高見澤翔一

がんばれ！ 佐藤珠穂選手！
法政4・WUL出場



横浜オリエンテーリングクラブ一同、応援しています

新入会員大募集中！

↓横浜OLクラブはこんな人におすすめ↓

- ・名マッパーの地図でオリエンテーリングしたい！
練習会で突然お披露目されるニューテレインの数々…
- ・正規チームでCC7入賞を狙いたい！
あなたの力があれば入賞に手が届きます!!
- ・遠征やマラソンを一緒にする仲間が欲しい！
仲間と行く遠征はもっと楽しい！

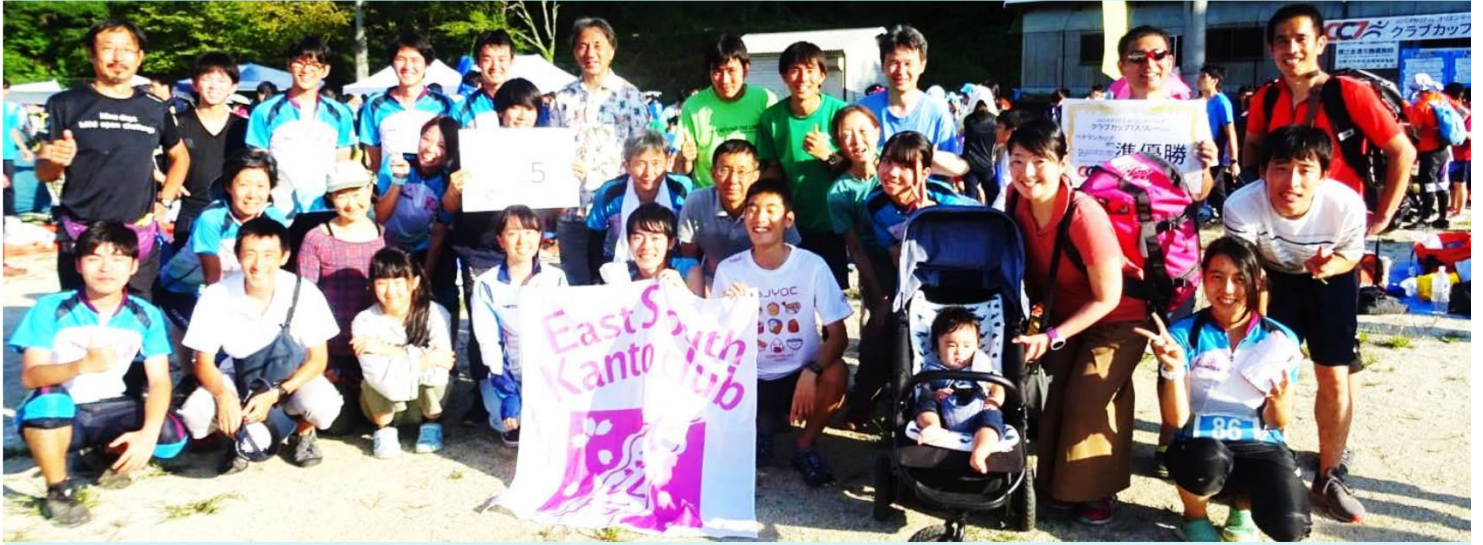
興味をお持ちの方はお近くのクラブ員へ、
またはメールやTwitterでお気軽にお問い合わせください

✉ yolc-daihyou@googlegroups.com

🐦 公式Twitter @yokohama_olc



ES Kanto C



ES 関東Cの現役生たちを全力で応援しています！がんばってね！

田中瑠偉（法政）・富山詩央里（実践）・伊地知淳（千葉）
生田峻（関東学院）・小林璃衣紗（青山学院）・金子詩乃（日本女子）

新入会員絶賛募集中



選手権クラス出場 今年は最多の5名！



竹下晴山選手
(茨城3)



菅沼友仁選手
(茨城4)



大栗由希選手
(茨城3)

一般クラス出場

橋本花恵選手（茨城4）

到津春樹選手（茨城4）

坂巻朱里選手
(十文字女子2)



豊田健登選手
(茨城4)



谷野文史選手
(筑波4)

新入会員募集中！

県内クラブとの合同合宿・練習会

登山/トレラン企画

ときどき海外遠征も？

所属名に困ったらお気軽にどうぞ



ときわ走林会
Tokiwa Forest Runners



走れ!! 京葉!!!!



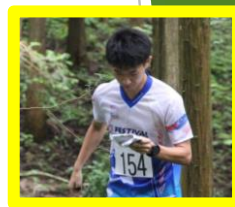
大鶴 啓介
(東京4)



猪俣 紗如
(千葉2)



森山 凌佑
(千葉4)



根本 啓介
(筑波4)



伊藤 元春
(東京3)



朝間 玲羽
(東京3)



宮嶋 哲矢
(千葉4)



香取 瑞穂
(立教4)



宮本 和奏
(筑波4)



千葉県では珍しい!? **きれいな林**を走ろう!

2/13(土)@橘ふれあい公園(千葉県香取市)

New **テレイン**で大会開催予定!

新規会員募集中!

問い合わせは
keiyoshinkan@gmail.com へ!

千葉大学
宮嶋哲矢

筑波大学
小牧弘季

筑波大学
森 恒大

矢板が
待ち遠しい

長野県オリエンテーリング協会

石川創也 東海チャンプの意地



住吉将英 名牘のゴリラ



次期エース候補筆頭

栗生啓介



小林直登 完全復活



谷平光一

やる時はやる男



棚橋一樹

高さは速さ



名牘 **OBOG** は
名古屋大学
名古屋工業大学
椋山女学園大学 の
活躍を願っています！



ここまできたらやるしかない
バリバリエンジョイ アンドタフ

伊部琴美 絶対的エース



名牘美脚枠

土田千聖



おりおりおりりり
須本みずほ



近藤花保

先輩たちに挑む



セレのリベンジ

五十嵐羽奏



岡崎のプライド 山崎璃果



今井里奈

椋山の星



阪大 神大 奈良女

オリエンができる喜びを噛みしめながら、それぞれの目標に向かって全力で楽しんでください！応援してます！（奈良女'16中川）
 全力で戦って、全力で楽しんで、インカレという貴重な機会を堪能してください！！オフィシャルとして応援してます！（阪大'16出田）
 ひとりひとりが、インカレを存分に楽しんでね！会場には行けなくても応援してます（奈良女'16布施谷）
 あいにくの無観客試合ですが、観客がいなくても応援してくれる人がいないわけではない。遠くから応援しています。ファイト！（阪大'15田中）
 思うように活動できず、悔しい一年だったと思います。その悔しさをインカレに思う存分ぶつけてください。応援しています！（奈良女'15金澤）
 思い通りにならないことだらけの中、皆で辿り着いた今年の舞台です！出し惜しみ無く駆け抜けてください！（阪大'14岩城）
 1度しかない今回のインカレを全力で楽しんでください！競技も！応援も！観光も！最高の思い出になりますように！（阪大'13野田）
 ムシヨクに金を見せてくれ！（神大'16川島）
 最後まであきらめずに走りきれ！応援してます！（阪大'16碓田）
 悔いを残さないように、全力で楽しんでください！応援しています！（奈良女'16近藤）
 自粛期間に溜め込んできたオリエン愛を爆発させて、最高のレースを！！（阪大'16杉本）
 皆さんにとって悔いのないレースが送れる様に大阪から応援しています（阪大'16内田）
 インカレは楽しんだ者勝ち！エリートも一般もみんな応援しています！（大阪'16塚越）
 みんな頑張れ！応援してます！（阪大'15鶴本）
 みなさん頑張って〜九州から応援してます！！（阪大'15石田）
 自分のレースを楽しんでください！見守っております（奈良女'15戸谷）
 最後まであきらめないでね（阪大'15尾崎）
 排便、睡眠、カロリー補給はしっかりしましょう（阪大'15稲岡）
 何回もはない特別な舞台、全力で楽しんでください！（奈良女'15岡本）
 1レッグ、1レッグを大切に！活躍を期待してます！（阪大'14清川）
 「がんばれ！」（阪大'14近藤）
 地図を見よ。周りを見よ。そうすればルートは見える。（阪大'13松浦）
 今の最大を出し切って、最高の結果を狙っていこう！（神大'13築地）
 レースは勿論、インカレというイベントを各自全力で楽しんでください！（阪大'13秋山）
 さあ久しぶりの祭ですよ！モチベーションをチョモランマ級に高めていきましょう（阪大'15遠藤）
 最高のインカレになりますように！！たくさん走って、応援して楽しんでください！（阪大'13堀（帯金））

片岡佑太

永山尚佳

松本萌恵

高橋茉莉奈



がんばれ！駆けろ！楽しめ！

阪神奈 OB・OG一同

神太OLKOBs

さあゆこう

年目の秋

イチか
ナナコロビ

か
チキカコロで
イタでカガヤケ

BEE KOBE

京都OLC、全力で、突き進め！！



岩田 慈樹 選手
(京都大学)



和佐田 祥太郎 選手
(京都大学)



山根 萌加 選手
(京都大学)



京都OLCと一緒にオリエンテーリングを楽しみませんか？

Mail: ysjdy953★ybb.ne.jp (会長：小野田, ★→@へ)

Twitter: https://twitter.com/kyoto_olc

Facebook: <https://www.facebook.com/kyotoOLC/>

大阪OLCは学生会員の皆さんを応援します

片岡佑太選手 (大阪大学) 桃本一輝選手 (大阪大学)
吉田薪史選手 (大阪大学) 丸山ゆう選手 (京都大学)

新入会員随時募集中！



URL: <http://www.orienteering.com/~osakaolc/>

連絡先: osakaolc@gmail.com



今年も変わらない京大の活躍を

期待しています!!

33期 田中

コロナに負けるな京大京女立命館!

現地には行けないけど

速報見て応援してます!

35期 実藤

現地で応援できないのが残念ですが、

京都から声援を送ります。

思う存分楽しんでください!

38期 荒木

積み上げてきたものを信じて。

最後まで、堂々と走り抜いてください。

38期 岩井

いつも通りにオリエンが

出来なかった時期も

着々と競技に取り組み続けてきた

皆さんの好走を祈念しています。

晴れやかな気持ちで

戦ってきてください!

38期 大野

平常心を保ち、実力を出し切って
ください。

応援しています!

38期 小池

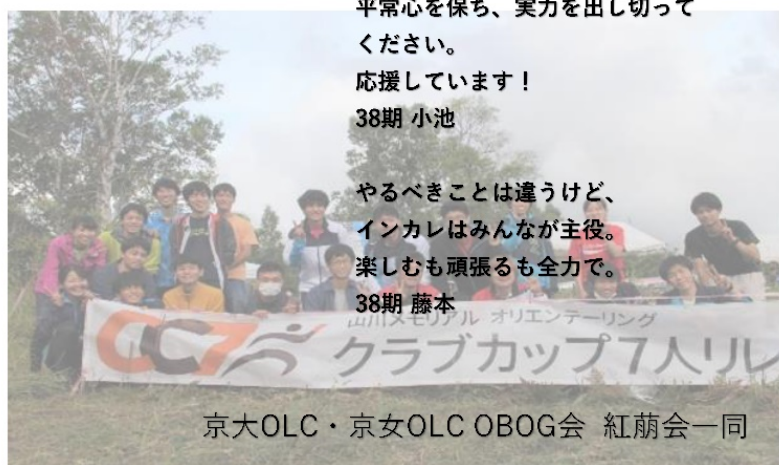
やるべきことは違うけど、

インカレはみんなが主役。

楽しむも頑張るも全力で。

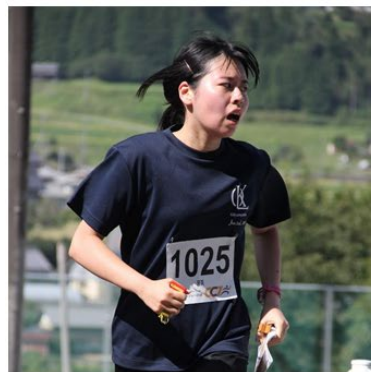
38期 藤本

駆け抜けろ!
京都大学
京都女子大学
立命館大学



KOLA (岸和田オリエンテーリング協会)

～楽しいことをより楽しく～



栗本美緒(津田塾大)



高野陽平(神戸大)

KOLAには競技派な人はあまりいないのですが、
毎年必ず3回大会を運営していたり、リレーは複数
チーム出したりとゆるいながらもオリエンを参加
者としても運営者としてもちゃんと楽しむ雰囲気
が僕は好きです。



公式HP

Twitter



翔け抜ける——

OLP
HYOGO



永山 尚佳 選手（神戸大学）

OLP 兵庫はインカレを応援しています！！

会員募集中です！



アスリートとサポートスタッフのみなさんへ。

なぜ、私たちにとって、アンチ・ドーピングの
知識や活動が必要なのでしょうか？

アンチ・ドーピングは、たんに
「不正する人を見つけ、不当な勝利を防ぐ」ための活動ではありません。

アンチ・ドーピングは、スポーツを成り立たせている
「みんながフェアであること」を守るためにあります。
全員がフェアでなければ、そもそもスポーツは成り立たない。
すべての人が、スポーツに参加し、公平に競い合うことができる。
その権利を守るために、アンチ・ドーピング活動があります。

そして、もうひとつ。アンチ・ドーピングは、
「スポーツが生み出す価値」を守るためにあります。
挑戦する心、相手へのリスペクト、そこから生まれる友情、
そんな、社会にとっても大切な価値を守るためにあります。

フェアであることを守り、スポーツの価値を守る。
そのいちばん中心となるのが、アスリートとサポートスタッフのみなさんです。
みなさんが、フェアであることをつねに誇りに思い、
その大切さを、世の中に示すこと。
それこそが、スポーツの発展を支え、よりよい社会をつくる力になります。

フェアであることの誇りを胸に、素晴らしいスポーツの価値を、
ともに広めていきましょう。



勝利を超える価値がある

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構



大会公式キャラクター

「ジョニーくん」

運営を行う元インカレチャンプたちにも噛みつき血を吸う実力派。
ただし、頭上に塩をつきつけられていることに気づかずすぐにやられるマヌケさも合わせ持つ。
最近は朝晩が冷え込むためか、なかなか会えなくなってきた。

2020年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
ロング・ディスタンス競技部門
要項3.1

発行日：2020年10月8日
発行者：2020年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
ロング・ディスタンス競技部門 実行委員会
発行責任者：岡崎 良昭(実行委員長)
編集責任者：桑原 大樹(広報責任者)